AI Psychometrics Inc.

Theta AI™

判断エビデンスレポート

5択状況判断・ベスト+ワースト回答・個人

20の職場の状況を通じて、この人が最も効果的、および最も有害と判断した選択、コンピテンシーごとに判断が確かな点と不安定な点、そして面接で確認すべき点。

SYNTHETIC-DEMO 向けに作成(顧客データではありません)

候補者サンプル001(仮名)

20/20回答・41ページ・v6.1

作成日2026年10月8日

キャリブレーション前・記述的 | key_version theta-key-2026-10-05 | scoring bw-s1-v1 | 総合順位なし・判定なし | 欠損は欠損のまま

02 エグゼクティブサマリー
03 ビジュアルダッシュボード・30秒ビュー
04 概要ダッシュボード
05 難易度と候補者スコア
06 候補者と平均の比較
07 候補者の有害選択と逆転
10 識別力と候補者グループ
11 候補者の安定性
12 候補者の軸交替
13 候補者のバンド
14 候補者の9指標統合
15 コンピテンシープロファイル
16 リスクのある選択・有害領域
17 面接・育成ガイド
18 面接官向け深掘り質問
21 育成計画30/60/90
22 2軸判断マップ
24 選択フィンガープリント20×5
25 選択の質・ギャップ
26 魅力的な誤答選択肢
29 難易度調整ストーリー
31 一貫性・タイプの安定性
32 回答パターン
33 回答時間の詳細
34 価値観フィンガープリント・意思決定スタイル
35 測定上の注記・エビデンス
37 コンピテンシーの解釈
38 付録R

レポートの真正性を確認
TH-8MNP-5RKS-C

© 2026 AI Psychometrics Inc.・ai-psychometrics.com

エグゼクティブサマリー ・ 意思決定ページ

面接前の1分間の結論。すべての数値は、本レポートの後ろにあるグラフまたは表に基づいています。

結論(一文で)

平均6.2/8はコホート平均(4.6)を上回り、効果的な行動の見極め(0.80)は有害な行動の見極め(ワーストクレジット0.75)より明確です。面接ではまず CB-03-A、CB-08-A、CB-03-C を確認してください。

コホートを上回る3つの状況

20 **CB-12-C**・8/8・コホート5.0 (+3.0)
09 **CB-05-D**・7/8・コホート4.0 (+3.0)
02 **CB-01-C**・7/8・コホート4.2 (+2.8)

確認すべき3点

05 **CB-03-A**・リスクのある選択・3/8・コホート4.6
14 **CB-08-A**・リスクのある選択・3/8・コホート4.8
06 **CB-03-C**・コホートから最も下回る・5/8・コホート4.3

フォローアップのためであり、不採用の理由ではありません。

面接で尋ねる3つの質問

05 「CB-03-A のような状況で、『次の会議の前に味方を作るため、その同僚への不満をこっそり他のチームメイトに広める』ように行動したことはありますか。最初に何を考えましたか。」
14 「CB-08-A のような状況で、『その場の会議で一点ずつ反論する』ように行動したことはありますか。最初に何を考えましたか。」
06 「CB-03-C で、『これは仕事ではなく個人的なことなので、二人に任せておく』がなぜ最悪の選択に見えたのですか。」

フォローアップと、強い回答・弱い回答のサインは「面接官向け深掘り質問」ページにあります。

30分の面接プラン

0〜5分・最も確かなコンピテンシー「顧客とステークホルダー」から始める
5〜20分・深掘り質問ページで2つのリスク選択を確認する(理由 → 代替案 → 結果)
20〜27分・「人と協働」について実例を1つ尋ねる
27〜30分・候補者からの質問・判断会議のために根拠を書き留める

エビデンスは十分か

- **20/20** 回答済み・欠損なし
- 平均項目スコア90% 区間 **5.7–6.7** (8点満点)
- タイプの安定性 **99%** (1,000回の項目リサンプリング)
- 回答の整合性: **シグナルなし**
- 比較対象:このキャンペーンの24名のコホート・記述的、キャリブレーション前 (key theta-key-2026-10-05)

コンピテンシーごとに1行・ベストクレジット + ワーストクレジット(0–8)

顧客とステークホルダー・**6.8/8**・コホート中央値(4.8)を上回る・最低は状況01 CB-01-B (6/8)
誠実性とリスク・**6.7/8**・コホート中央値(4.4)を上回る・最低は状況18 CB-11-C (5/8)
人と協働・**4.8/8**・コホート中央値(4.8)と同水準・最低は状況05 CB-03-A (3/8)
プレッシャー下での実行力・**6.3/8**・コホート中央値(5.0)を上回る・最低は状況13 CB-07-C (5/8)

本レポートが示すこと

- 20の状況で、効果的な行動と有害な行動がどの程度見極められたか(区間つき)
- コホートとの位置関係(順位ではありません)
- 面接で確認すべき具体的な状況と質問

本レポートが示さないこと

- 採用可否・総合スコア・順位
- キャリブレーション済みの能力スコア(キーとキャリブレーションの承認前)
- パーソナリティ・不正行為

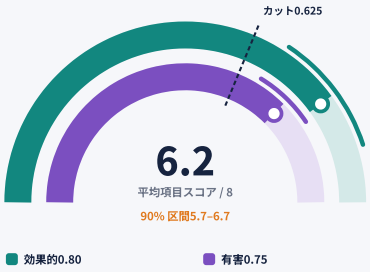
判断前に読むページ

- **p16** リスクのある選択・有害領域
- **p18** 面接官向け深掘り質問・ルーブリック
- **p21** 育成計画30/60/90日
- **p35** 測定上の注記・エビデンス

ビジュアルダッシュボード ・ 30秒ビュー

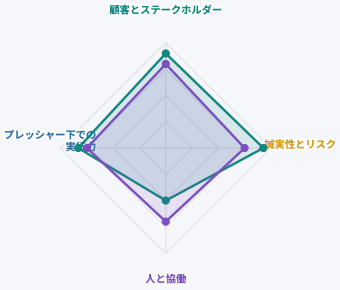
20の状況における平均項目スコアは6.2/8。有害な行動の見極めと効果的な行動の見極めのどちらが明確かを一目で確認できます。

両面判断ゲージ



外側 = 効果的な行動の見極め、内側 = 有害な行動の見極め (0–1)。細い弧 = 90% 区間。キャリブレーション前の記述値であり、θ ではありません。

コンピテンシープロファイル・ベスト vs ワースト



青緑 = ベストクレジット、紫 = ワーストクレジット(コンピテンシーごとの平均0–4)・コンピテンシータグはサンプル上の対応付けです。

項目スコアの内訳



- 7–8 確実10
- 5–6 概ね正解8
- 0–3 要確認2

S1では、スコア4は発生しません。

20の状況の一覧・ベスト / ワースト / 合計

項目スコア = ベストクレジット key(B)−1 + ワーストクレジット5−key(W)。オレンジのセルは3以下。

	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
ベストクレジット(0–4)	2	4	4	4	0	2	4	4	4	3	4	2	4	1	4	4	4	2	4	4
ワーストクレジット(0–4)	4	3	2	4	3	3	3	3	3	3	3	4	1	2	3	4	3	3	2	4
項目スコア(0–8)	6	7	6	8	3	5	7	7	7	6	7	6	5	3	7	8	7	5	6	8

24名のコホート内での位置・平均項目スコア



青い形 = コホートの分布(濃い部分 = 中央50%)・オレンジ = この候補者と90% 区間。分布上の位置であり、順位やパーセンタイルではありません。

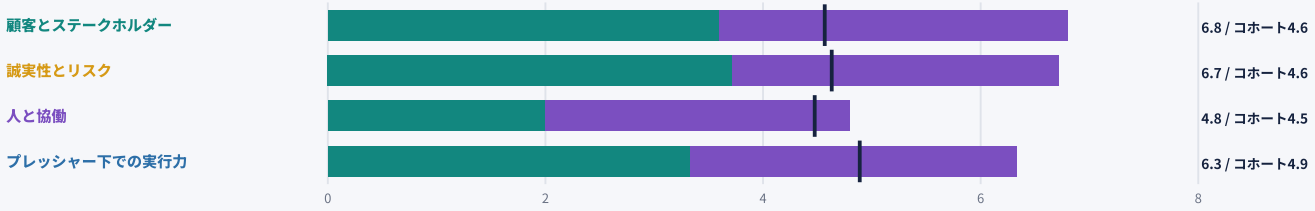
状況別のベスト・ワーストクレジット

左の青緑 = ベストクレジット、右の紫 = ワーストクレジット(それぞれ0–4)。



コンピテンシー概要・ベストクレジット + ワーストクレジット(0–8)

青緑 = ベストクレジット、紫 = ワーストクレジット・紺の線 = コホート平均・コンピテンシータグはサンプル上の対応付けです。



相対比較エビデンス ・ 概要(候補者を表示)

候補者の平均は6.2で、コホート平均4.61を上回っています。タイプ:バランス型、安定性98.6%。

候補者サンプル001の概要

候補者平均	判断タイプ	軸の交替
6.2	バランス型	9
コホート平均4.61・0-8	リサンプル安定性98.6%	コホート平均5.5

有害な選択	逆転・近接	回答済み
2	2・3	20/20
なし	ギャップ＜0の状況・ギャップ＝1	すべての状況に回答済み

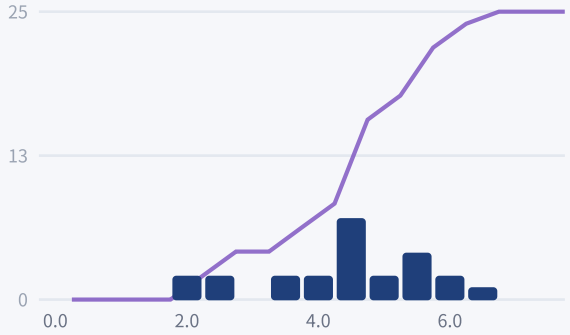
コホート分布(比較の基準)

タイプとスコアの分布

判断タイプの分布(N・割合)

バランス型	2・8.3%
未分化	7・29.2%
効果重視型	0・0.0%
境界域	15・62.5%

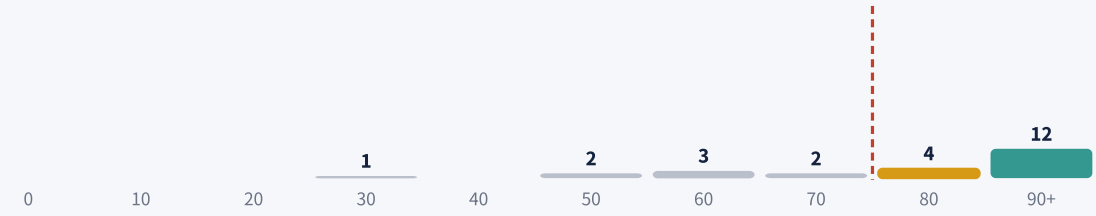
平均スコアの分布・紫の線＝累積割合



中央値4.9・平均4.61・範囲0-8

安定性バンド

タイプ安定性バンド(1,000回リサンプリング)・80%基準



相対比較エビデンス ・ 難易度(候補者を表示)

候補者の最高:CB-02-C (8.0)、最低:CB-03-A (3.0)。

状況別の候補者スコア

状況	スコア	選択	状況	スコア	選択
CB-01-B	6.0	ベスト順位3	CB-06-D	7.0	モデル選択
CB-01-C	7.0	モデル選択	CB-07-A	6.0	ベスト順位3
CB-02-A	6.0	モデル選択	CB-07-C	5.0	モデル選択
CB-02-C	8.0	モデル選択	CB-08-A	3.0	ベスト順位2
CB-03-A	3.0	ベスト順位1	CB-09-A	7.0	モデル選択
CB-03-C	5.0	ベスト順位3	CB-10-A	8.0	モデル選択
CB-04-B	7.0	モデル選択	CB-11-B	7.0	モデル選択
CB-05-A	7.0	モデル選択	CB-11-C	5.0	ベスト順位3
CB-05-D	7.0	モデル選択	CB-12-A	6.0	モデル選択
CB-06-A	6.0	ベスト順位4	CB-12-C	8.0	モデル選択

コホート難易度ダンベルチャート(比較の基準)

モデル選択ダンベルチャート・状況別



相対比較エビデンス ・ 平均(候補者を表示)

コホート平均との差が最大なのは CB-12-C (+3.0)です。

候補者とコホート平均の比較

状況	コホート平均	候補者	差分	状況	コホート平均	候補者	差分
CB-01-B	4.54	6.0	+1.5	CB-06-D	4.42	7.0	+2.6
CB-01-C	4.21	7.0	+2.8	CB-07-A	5.00	6.0	+1.0
CB-02-A	4.88	6.0	+1.1	CB-07-C	4.33	5.0	+0.7
CB-02-C	5.21	8.0	+2.8	CB-08-A	4.83	3.0	-1.8
CB-03-A	4.58	3.0	-1.6	CB-09-A	4.42	7.0	+2.6
CB-03-C	4.29	5.0	+0.7	CB-10-A	5.33	8.0	+2.7
CB-04-B	4.46	7.0	+2.5	CB-11-B	5.38	7.0	+1.6
CB-05-A	4.42	7.0	+2.6	CB-11-C	4.08	5.0	+0.9
CB-05-D	4.04	7.0	+3.0	CB-12-A	4.67	6.0	+1.3
CB-06-A	4.25	6.0	+1.8	CB-12-C	4.96	8.0	+3.0

コホート平均の逆引き(比較の基準)

状況別のスコア分布・平均 ±SD・中央値



相対比較エビデンス ・ 有害な選択と逆転(候補者を表示)

この候補者には、有害な選択が2つの状況、逆転が2つの状況、逆転に近い状況が3つあります。

候補者の有害な選択・逆転が見られた状況

有害な選択:2

状況	詳細	スコア
CB-03-A	有害な選択肢をベストとして選択	3.0
CB-08-A	有害な選択肢をベストとして選択	3.0

逆転:2・近接:3

状況	ギャップ	スコア
CB-03-A	ギャップ -1	3.0
CB-08-A	ギャップ -1	3.0
CB-03-C	ギャップ1	5.0
CB-07-C	ギャップ1	5.0
CB-11-C	ギャップ1	5.0

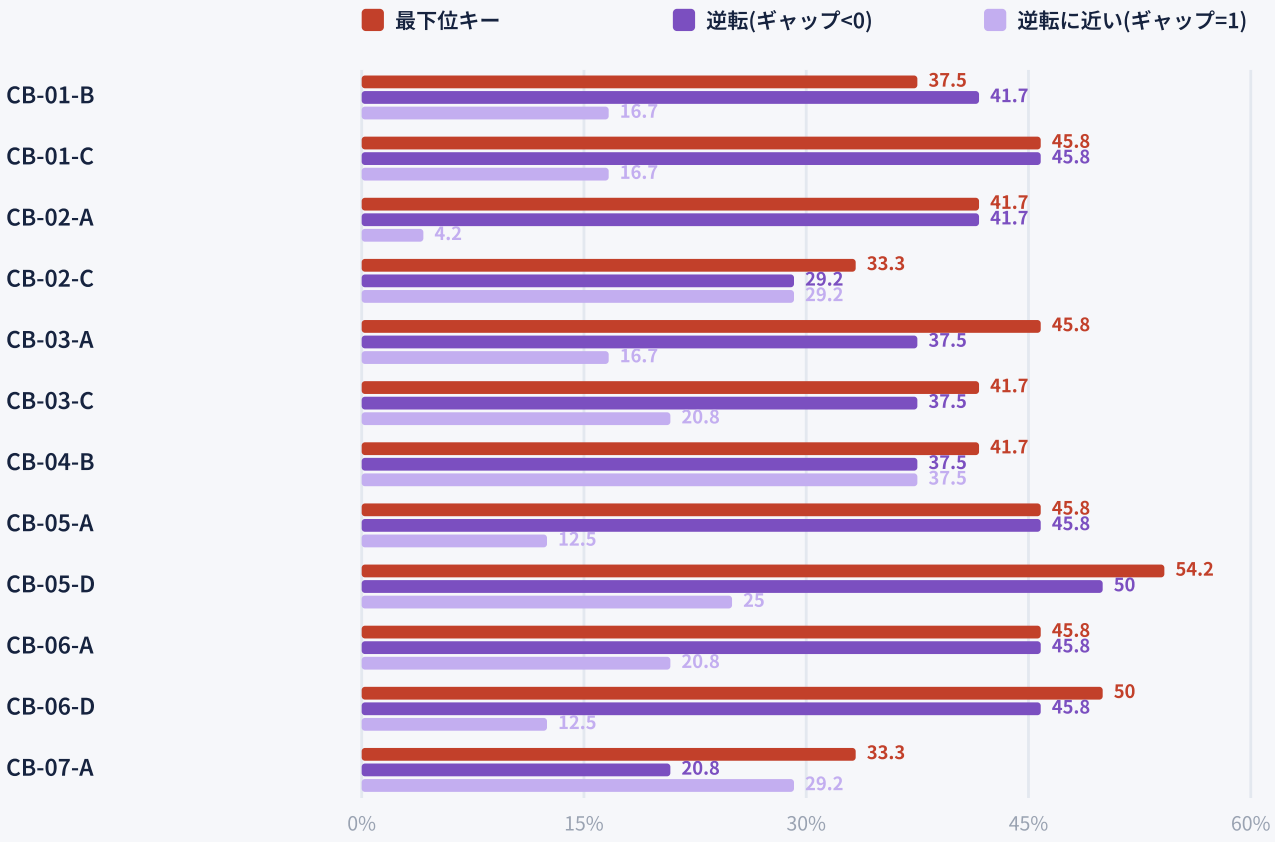
異なるシグナル、異なる質問

順位ベースのフォローアップフラグは、ベストのキー順位が1–2の場合に付きます。逆転とは、選んだベストのキー順位が選んだワーストより低いことです。逆転に近い状態は、順位差が1のものです。これらの件数は重複しており、別々のグループとして足し合わせることはできません。実例を尋ねる前に、元の選択肢の選び方を確認してください。

相対比較エビデンス · 有害な選択と逆転(候補者を表示) · 続き

最下位キーのベスト選択は20の状況で10%を超え、ピークはCB-05-D (54.2%)です。逆転は CB-05-D (50%)に集中しています。

状況別の最下位キー選択・逆転・逆転に近い選択



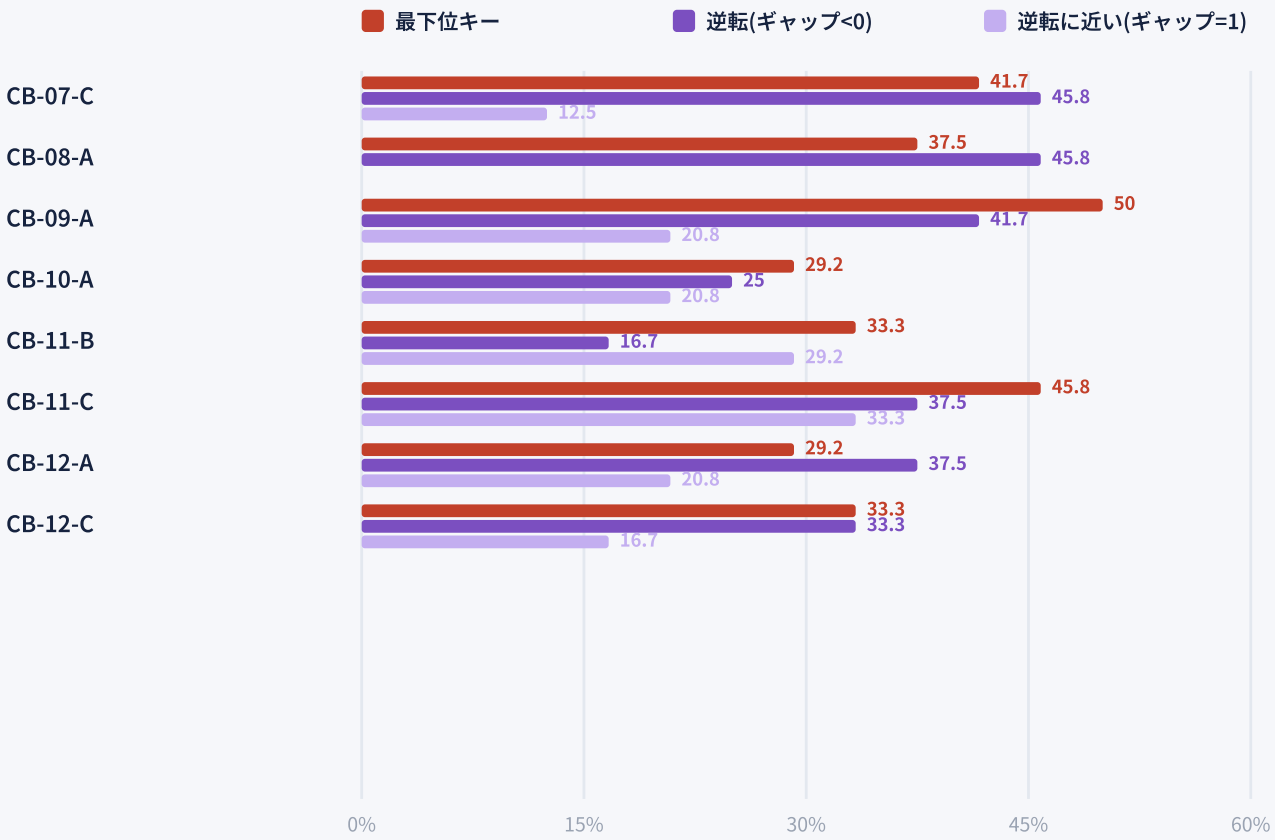
数値

状況	最下位キー	逆転	逆転に近い	モデルのベスト
CB-01-B	37.5%	41.7%	16.7%	29.2%
CB-01-C	45.8%	45.8%	16.7%	29.2%
CB-02-A	41.7%	41.7%	4.2%	29.2%
CB-02-C	33.3%	29.2%	29.2%	37.5%
CB-03-A	45.8%	37.5%	16.7%	29.2%
CB-03-C	41.7%	37.5%	20.8%	4.2%
CB-04-B	41.7%	37.5%	37.5%	25%
CB-05-A	45.8%	45.8%	12.5%	25%
CB-05-D	54.2%	50%	25%	20.8%
CB-06-A	45.8%	45.8%	20.8%	12.5%
CB-06-D	50%	45.8%	12.5%	25%
CB-07-A	33.3%	20.8%	29.2%	25%

相対比較エビデンス · 有害な選択と逆転(候補者を表示) · 続き

最下位キー選択の続き・状況13-20。

状況別の最下位キー選択・逆転・逆転に近い選択



数値

状況	最下位キー	逆転	逆転に近い	モデルのベスト
CB-07-C	41.7%	45.8%	12.5%	25%
CB-08-A	37.5%	45.8%	0%	33.3%
CB-09-A	50%	41.7%	20.8%	20.8%
CB-10-A	29.2%	25%	20.8%	29.2%
CB-11-B	33.3%	16.7%	29.2%	37.5%
CB-11-C	45.8%	37.5%	33.3%	20.8%
CB-12-A	29.2%	37.5%	20.8%	33.3%
CB-12-C	33.3%	33.3%	16.7%	41.7%

読み方と表示内容

- 最下位キーのベスト = 下位2つのキー選択肢(キー順位1–2)のいずれかをベストとして選ぶこと。逆転 = ベスト選択のキー順位がワースト選択より低いこと(ギャップ<0)。逆転に近い = 順位が1つ差(ギャップ=1) - 判断がほぼ反転した状態。
- 480の回答ペアのうち、逆転は183(38.1%)、逆転に近いものは95(19.8%)。24名(100.0%)が最下位キーのベストを少なくとも1回選んでいます。
- 逆転と逆転に近い選択の両方が多い状況は、キー・選択肢の見直し候補です。最下位キーのみの状況は、コホート向けのコーチング対象です。
- 重大度タグ付きのリスク選択(致命的・高)は、ダッシュボード、項目の健全性、面接バンクのページで集計されています。

相対比較エビデンス ・ 識別力(候補者を表示)

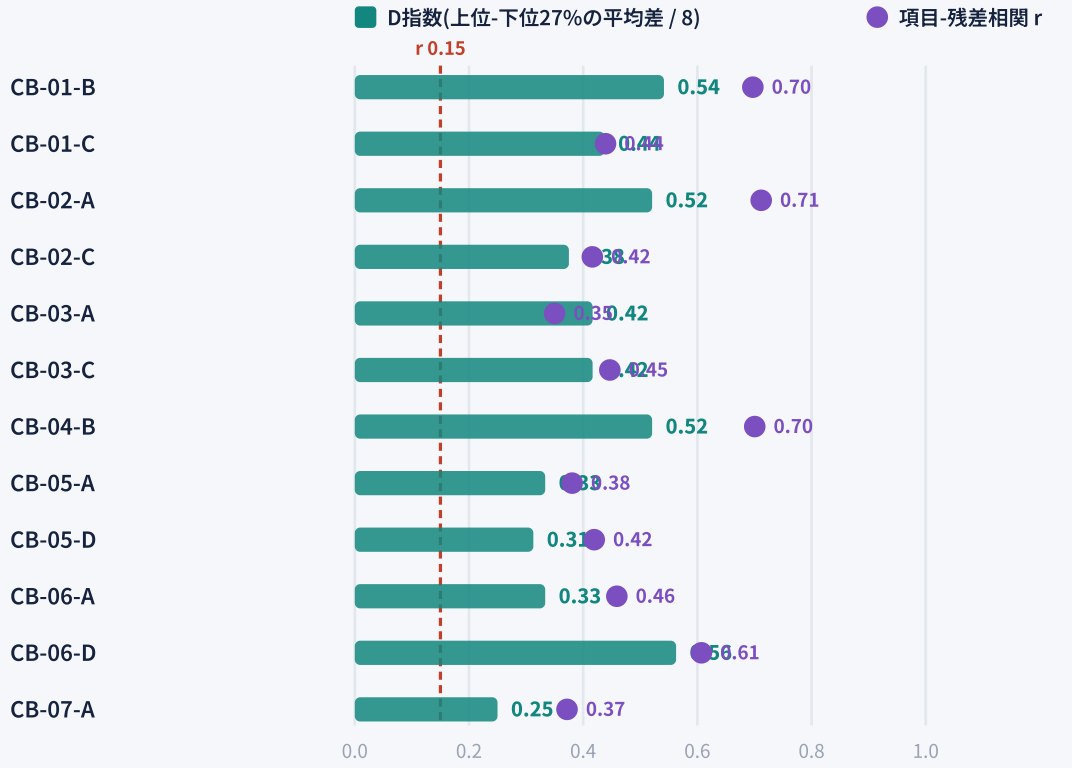
識別力による分割では、この候補者は上位27%グループに入ります。

識別力の計算における候補者の位置

上位/下位27%の分割で、この候補者は **上位27%グループ** に入ります(平均6.2。グループは平均スコアで分割)。この指標は項目の特性であり、候補者の評価ではありません。

コホートの識別力(比較の基準)

状況別の識別力・D指数と項目-残差相関 r



相対比較エビデンス ・ 安定性(候補者を表示)

候補者のタイプ安定性は98.6%で、堅固な水準です。

候補者のタイプ安定性

候補者の安定性
98.6%
1,000回の決定論的リサンプリング

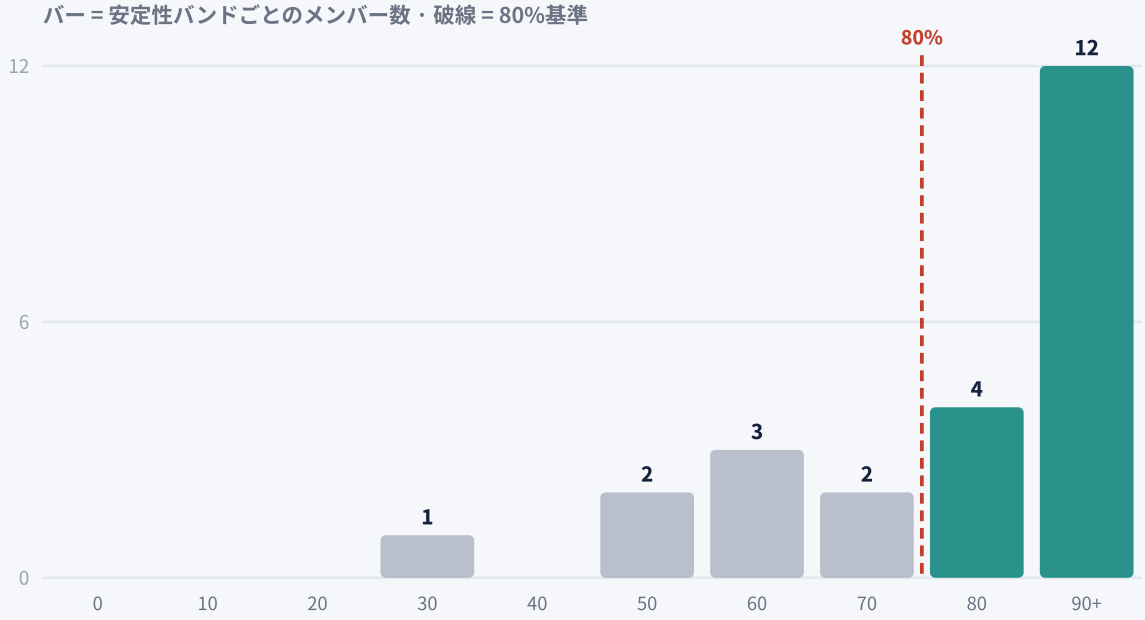
タイプ
バランス型
コホートの境界域:15

コホート内の位置
メンバーの62.5%を上回る
擬似標準化(記述的であり、評価ではありません)

コホートの安定性分布(比較の基準)

タイプ安定性の分布・1,000回リサンプリング

バー = 安定性バンドごとのメンバー数・破線 = 80%基準



相対比較エビデンス ・ 軸交替(候補者を表示)

この候補者は軸を9回交替しており、場所は CB-01-B→CB-01-C、CB-02-C→CB-03-A、CB-03-C→CB-04-B、CB-06-D→CB-07-A、CB-07-A→CB-07-C、CB-07-C→CB-08-A、CB-08-A→CB-09-A、CB-11-B→CB-11-C、CB-11-C→CB-12-A です。

候補者の軸交替

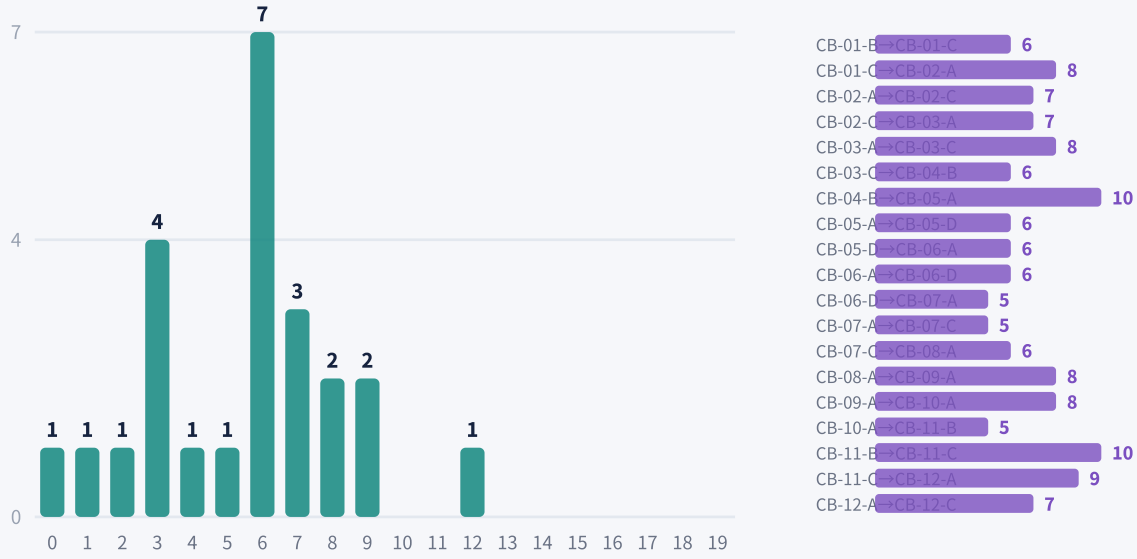
交替回数
9
コホート平均5.5・最大12

境界
9
CB-01-B→CB-01-C, CB-02-C→CB-03-A, CB-03-C→CB-04-B, CB-06-D→CB-07-A, CB-07-A→CB-07-C, CB-07-C→CB-08-A, CB-08-A→CB-09-A, CB-11-B→CB-11-C, CB-11-C→CB-12-A

コホートの軸交替分布(比較の基準)

軸交替・メンバー別と境界別

左 = メンバーごとの交替回数・右 = 反転が起きる境界



相対比較エビデンス ・ バンド(候補者を表示)

候補者の回答のうち15件が6-8バンドにあり、2件が4未満です。

候補者のバンド配置

20の状況のうち、6-8バンド15、4-6 3、2-4 2、0-2 0。4未満:CB-03-A、CB-08-A。

状況	スコア	バンド
CB-01-B	6.0	6-8
CB-01-C	7.0	6-8
CB-02-A	6.0	6-8
CB-02-C	8.0	6-8
CB-03-A	3.0	2-4
CB-03-C	5.0	4-6
CB-04-B	7.0	6-8
CB-05-A	7.0	6-8
CB-05-D	7.0	6-8
CB-06-A	6.0	6-8
CB-06-D	7.0	6-8
CB-07-A	6.0	6-8
CB-07-C	5.0	4-6
CB-08-A	3.0	2-4
CB-09-A	7.0	6-8
CB-10-A	8.0	6-8
CB-11-B	7.0	6-8
CB-11-C	5.0	4-6
CB-12-A	6.0	6-8
CB-12-C	8.0	6-8

コホートのバンド行列(比較の基準)

状況 × バンド行列

セル = バンド内のメンバー数(N)・最下行 = バンド合計

	0-2	2-4	4-6	6-8
CB-01-B	3	7	4	10
CB-01-C	4	7	4	9
CB-02-A	2	8	1	13
CB-02-C	0	7	7	10
CB-03-A	5	4	4	11
CB-03-C	5	4	5	10
CB-04-B	1	8	9	6
CB-05-A	5	6	3	10
CB-05-D	2	10	6	6
CB-06-A	3	8	5	8
CB-06-D	4	7	3	10
CB-07-A	4	1	7	12
CB-07-C	3	8	3	10
CB-08-A	1	10	0	13
CB-09-A	4	6	5	9
CB-10-A	1	5	5	13
CB-11-B	2	2	7	13
CB-11-C	6	3	8	7
CB-12-A	1	8	5	10
CB-12-C	5	3	4	12
バンド合計	61	122	95	202

相対比較エビデンス ・ 統合(候補者を表示)

候補者:平均6.2、安定性98.6%、軸交替9回、2つの状況で有害な選択。

候補者サマリー(9指標)

1. 平均スコア **6.2** コホート4.61	2. ベスト・ワースト状況 **8.0 / 3.0** 0-8スケール	3. 逆転 **2** コホートペアの38.1%
4. モデル選択 **13** ベスト順位5	5. 安定性 **98.6%** 80%基準	6. 軸交替 **9** コホート平均5.5
7. 6-8バンド **15** コホートペアの42.1%	8. タイプ **バランス型** コホートの境界域15	9. 有害な選択 **2** コホートの100.0%

コホート9グラフ統合(比較の基準)

9つのエビデンスを一目で

1. 難易度ギャップ(上位 - 下位27%)
100pp / 17pp
CB-02-C / CB-03-C



2. 状況別の平均範囲
4.0 – 5.4
CB-05-D – CB-11-B



3. 逆転した選択(全ペア中)
38.1%
480ペア中 ギャップ < 0



4. 識別力 D
平均0.41
最低 CB-11-C 0.25



5. タイプ安定性 ≥80%
16・67%
境界域15が最も不安定



6. 軸交替(平均)
5.5
CB-04-B→CB-05-A 10



7. 6-8バンドの割合
42.1%
0-2バンド12.7%



8. 信頼性(α・折半法)
0.88・0.88
20/20項目が r = 0.15以上



9. 有害な選択をしたメンバー
100.0%
24名中24名



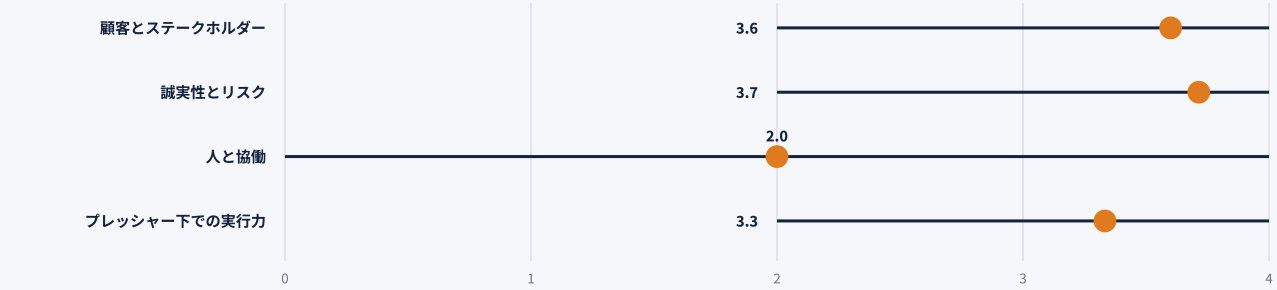
3文での統合

① 20の状況全体で、平均 D は0.41、回答の42%が6-8バンドにあります。② 識別力は状況によって大きく異なり、CB-02-C は上位-下位の差が100pp ある一方、CB-03-C は17pp にとどまり、ほぼ平坦です。③ タイプは67%で安定していますが、15名の境界域メンバーは項目構成によって変わり得ます。有害な選択率100%と逆転38.1%は、面接で確認すべき領域を示しています。

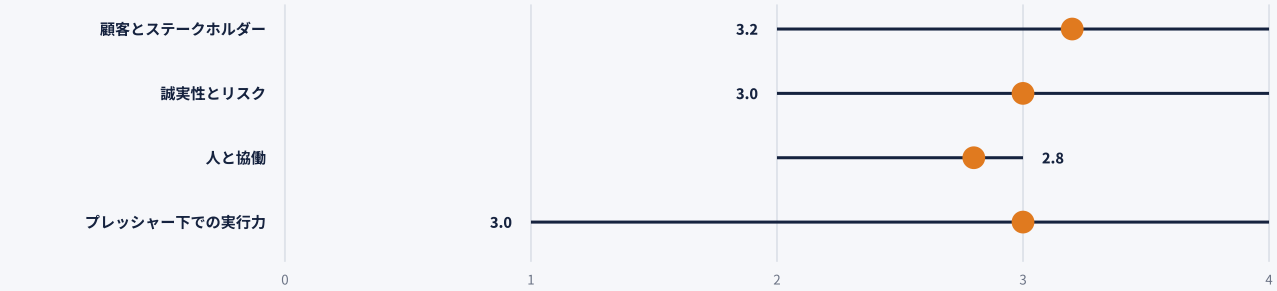
コンピテンシープロファイル

判断が最も確かなのは「顧客とステークホルダー」で、「人と協働」は区間が広く、面接で確認すべき点です。

コンピテンシー別のベストクレジット・コホート分布上のこの候補者



コンピテンシー別のワーストクレジット・コホート分布上のこの候補者



最も確かなコンピテンシー

顧客とステークホルダー

ベスト+ワーストの平均が最高

面接で確認

人と協働

平均が最低、区間が最も広い

読み方

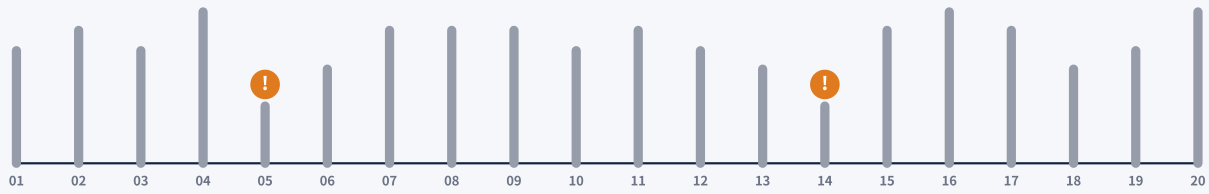
オレンジの点 = この候補者、紺の線 = 項目の範囲。コンピテンシーごとの状況数が少ないため、範囲は広くなります。会話の出発点であり、順位付けではありません。

リスクのある選択 · 有害領域

リスクのある選択は2件で、繰り返しパターンはありません。

リスク選択のタイムライン

バー = 項目スコア(0–8)・円 = リスク選択(赤 致命的・オレンジ 高・金 ワーストとして選ばれたモデル行動)



有害領域別の判断

	提示された有害な選択肢	ワーストとして却下	ベストとして支持
倫理	6	3	0
法務・ポリシー	4	2	0
安全	2	1	0
データ保護	4	2	0
顧客の信頼	5	2	0
人	8	3	1
品質	6	0	0

数値 = 選択の件数。紫が濃いほど有害な行動を却下、オレンジ = 有害な行動をベストとして支持。

フォローアップすべきリスク選択

05 CB-03-A・有害な選択肢(重大度2)をベストとして選択

14 CB-08-A・有害な選択肢(重大度2)をベストとして選択

リスク選択は面接でのフォローアップ用であり、不採用の理由ではありません。

順位とタグのエビデンス

順位ベースのフォローアップルールにより、CB-03-A と CB-08-A がフラグされています。提供されたフォーム・メタデータでは、1つ目の行動に高重大度の「人」タグが付いています。2つ目の行動は、設計上タグなしです。領域別の表は提供されたタグのみを集計するため、ベストとして支持された件数は2ではなく1です。タグのない行動に独自の重大度を付けず、両方の元の選択を確認してください。

面接 ・ 育成ガイド

面接で確認する3点と、採用後すぐに使える育成メモ。

構造化面接ガイド・この候補者のエビデンスに基づく質問

質問1・高リスク選択 05

「『CB-03-A』で、『次の会議の前に味方を作るため、その同僚への不満をこっそり他のチームメイトに広める』をベストの行動として選ばれました。何を考えたか教えてください。」

フォローアップ:モデル行動は「会議後にその場面を1対1で取り上げ、前に進む方法を提案する」です。違いをどう捉えますか。

強い回答	懸念	エビデンス
状況の優先事項とリスクを見極め、モデル行動の原則にたどり着く	有害な選択肢を擁護する、または優先順位を逆に読む	CB-03-A: B キー 1 · W キー 2

質問2・高リスク選択 14

「『CB-08-A』で、『その場の会議で一点ずつ反論する』をベストの行動として選ばれました。何を考えたか教えてください。」

フォローアップ:モデル行動は「妥当な指摘は受け入れ、誤っている点は後で1対1で根拠を示す」です。違いをどう捉えますか。

強い回答	懸念	エビデンス
状況の優先事項とリスクを見極め、モデル行動の原則にたどり着く	有害な選択肢を擁護する、または優先順位を逆に読む	CB-08-A: B キー 2 · W キー 3

質問3・最低スコアの項目 06

「『CB-03-C』で、『当面二人が直接協働しないようにタスクを分け、それぞれから別々に進捗を集める』をベストの行動として選ばれました。何を考えたか教えてください。」

フォローアップ:モデル行動は「それぞれの話を別々に聞いたうえで、3人で会って役割とコミュニケーションを合意する」です。違いをどう捉えますか。

強い回答	懸念	エビデンス
状況の優先事項とリスクを見極め、モデル行動の原則にたどり着く	有害な選択肢を擁護する、または優先順位を逆に読む	CB-03-C: B キー 3 · W キー 2

育成メモ(採用後のオンボーディング用)

人と協働 の判断

最も低いコンピテンシーで4.8/8。1か月目に、類似の実際のケースを先輩とともに振り返ります。

効果的な行動の軸

5件の選択が、モデル行動ではなく「安全」な選択肢(キー 3–4)でした。ステークホルダーを合意に導くことが求められるストレッチ課題が役立ちます。

活かせる強み

顧客とステークホルダー が最も確かです(6.8/8)。この強みを活かせる業務から始めてください。

面接の優先順位・スコアが低い項目から



面接官向け深掘り質問 · ルーブリック

面接エビデンス記録・3件中1件目

05 CB-03-A・高・重大度2

「CB-03-A のような状況で、『次の会議の前に味方を作るため、その同僚への不満をこっそり他のチームメイトに広める』ように行動したことはありますか。最初に何を考えましたか。」

フォローアップ

「その判断で影響を受けたのは誰ですか。」
「もう一度やるとしたら、何を変えますか。」
「ルールや承認プロセスをどのように確認しましたか。」

強い回答のサイン

モデル行動と同じ方向:「会議後にその場面を1対1で取り上げ、前に進む方法を提案する」
リスクとステークホルダーを最初に挙げる
具体的なケース・結果・学び

弱い回答のサイン

選択をそのまま擁護する:「次の会議の前に味方を作るため、その同僚への不満をこっそり他のチームメイトに広める」
理由がスピードや利便性だけである
実際のケースがなく、一般論にとどまる

独立した面接記録

候補者が実際に話した内容を記録してください。上記の期待されるシグナルはエビデンスを確認するための手がかりであり、追加のスコアではありません。

記録すべきエビデンス	候補者の説明 / 面接官のメモ
状況と影響を受けた人	
検討した選択肢と理由	
確認したルール / 承認	
行動と観察された結果	
振り返りで変わったこと	

具体的なケースを1つ使ってください。観察したエビデンスと推測は分けて記録します。面接記録は元の回答と併せて議論し、項目スコアは変更しません。

面接官向け深掘り質問 · ルーブリック

面接エビデンス記録・3件中2件目

14 CB-08-A・順位ベースのフォローアップ・タグなし

「CB-08-A のような状況で、『その場の会議で一点ずつ反論する』ように行動したことはありますか。最初に何を考えましたか。」

フォローアップ

「その判断で影響を受けたのは誰ですか。」
「もう一度やるとしたら、何を変えますか。」
「ルールや承認プロセスをどのように確認しましたか。」

強い回答のサイン

モデル行動と同じ方向:「妥当な指摘は受け入れ、誤っている点は後で1対1で根拠を示す」
リスクとステークホルダーを最初に挙げる
具体的なケース・結果・学び

弱い回答のサイン

選択をそのまま擁護する:「その場の会議で一点ずつ反論する」
理由がスピードや利便性だけである
実際のケースがなく、一般論にとどまる

独立した面接記録

候補者が実際に話した内容を記録してください。上記の期待されるシグナルはエビデンスを確認するための手がかりであり、追加のスコアではありません。

記録すべきエビデンス	候補者の説明 / 面接官のメモ
状況と影響を受けた人	
検討した選択肢と理由	
確認したルール / 承認	
行動と観察された結果	
振り返りで変わったこと	

具体的なケースを1つ使ってください。観察したエビデンスと推測は分けて記録します。面接記録は元の回答と併せて議論し、項目スコアは変更しません。

面接官向け深掘り質問 · ルーブリック

面接エビデンス記録・3件中3件目

06 CB-03-C・最低スコアの状況

「CB-03-C で、『これは仕事ではなく個人的なことなので、二人に任せておく』がなぜ最悪の選択に見えたのですか。」

フォローアップ

「その判断で影響を受けたのは誰ですか。」
「もう一度やるとしたら、何を変えますか。」
「ルールや承認プロセスをどのように確認しましたか。」

強い回答のサイン

モデル行動と同じ方向:「それぞれの話を別々に聞いたうえで、3人で会って役割とコミュニケーションを合意する」
リスクとステークホルダーを最初に挙げる
具体的なケース・結果・学び

弱い回答のサイン

選択をそのまま擁護する:「これは仕事ではなく個人的なことなので、二人に任せておく」
理由がスピードや利便性だけである
実際のケースがなく、一般論にとどまる

回答の記録方法

- 質問ごとに、聞き取れたサインにチェックを入れ、候補者が話した内容を一文で書いてください。
- 新しいスコアは作成しないでください。この記録とレポートを併せて判断会議に持参してください。

独立した面接記録

候補者が実際に話した内容を記録してください。上記の期待されるシグナルはエビデンスを確認するための手がかりであり、追加のスコアではありません。

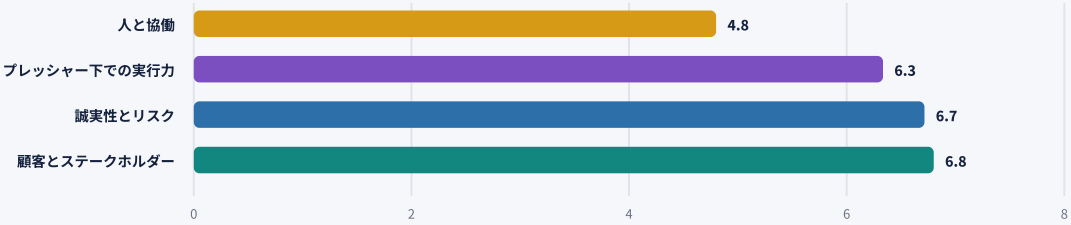
記録すべきエビデンス	候補者の説明 / 面接官のメモ
状況と影響を受けた人	
検討した選択肢と理由	
確認したルール / 承認	
行動と観察された結果	
振り返りで変わったこと	

具体的なケースを1つ使ってください。観察したエビデンスと推測は分けて記録します。面接記録は元の回答と併せて議論し、項目スコアは変更しません。

育成の提案 · 30/60/90日

採用した場合は、最初の90日を「人と協働」から始めてください。すべての提案は、この人が実際に行った選択に基づいています。

コンピテンシー別の優先順位・低いものから



人と協働・4.8/8

エビデンス・CB-03-A (3/8)・ベスト「次の会議の前に味方を作るため、その同僚への不満をこっそり他のチームメイトに広める」
30日・類似の実際のケースを先輩と振り返り、モデル行動「会議後にその場面を1対1で取り上げ、前に進む方法を提案する」と照らし合わせる
60日・「人と協働」の判断の前に、最も有害な選択肢を先に書き出す(ワーストから考える)
90日・マネージャーと2つのケースを確認する・同種の状況で選択が変わったかを見る

プレッシャー下での実行力・6.3/8

エビデンス・CB-07-C (5/8)
30日・類似の実際のケースを先輩と振り返り、モデル行動「代替会場を急いで手配し、決まったら参加者に変更と理由を伝える」と照らし合わせる
60日・「プレッシャー下での実行力」の判断の前に、最も有害な選択肢を先に書き出す(ワーストから考える)
90日・マネージャーと2つのケースを確認する・同種の状況で選択が変わったかを見る

誠実性とリスク・6.7/8

エビデンス・CB-11-C (5/8)・ベスト「他の人に見られないよう画面をロックし、別のPCに移る」
30日・類似の実際のケースを先輩と振り返り、モデル行動「中身を見ずにすぐログアウトし、セキュリティに報告する」と照らし合わせる
60日・「誠実性とリスク」の判断の前に、最も有害な選択肢を先に書き出す(ワーストから考える)
90日・マネージャーと2つのケースを確認する・同種の状況で選択が変わったかを見る

顧客とステークホルダー・6.8/8

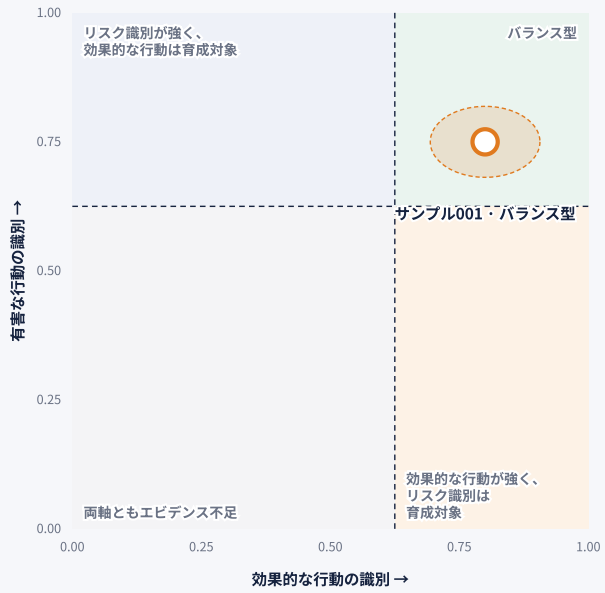
エビデンス・CB-01-B (6/8)・ベスト「報酬は自分の権限外であると説明し、正式な連絡先を伝える」
30日・類似の実際のケースを先輩と振り返り、モデル行動「影響を受け止め、調査と見直しの手順を説明し、適切なチームにつなぐ」と照らし合わせる
60日・「顧客とステークホルダー」の判断の前に、最も有害な選択肢を先に書き出す(ワーストから考える)
90日・マネージャーと2つのケースを確認する・同種の状況で選択が変わったかを見る

これらの提案の根拠と限界

すべての提案は、この候補者が実際に行った選択に基づいています。育成の対話の出発点であり、評価ではありません。

判断マップ ・ 2軸

効果的な行動の見極めと有害な行動の見極めを別々に示しています。
効果的な行動の識別:0.80 (0.69-0.90)。区間全体がカットを上回っています。
有害な行動の識別:0.75 (0.68-0.81)。区間全体がカットを上回っています。



効果的な行動の識別 ・ 寄与要因 ①

CB-01-C
ベスト:顧客に連絡して問題を確認し、事実に基づく公開返信を投稿する(キー 5)

効果的な行動の識別 ・ 寄与要因 ②

CB-02-A
ベスト:マネージャーに伝え、受け取った全員に修正版を送る(キー 5)

有害な行動の識別 ・ 寄与要因 ①

CB-07-C
ワースト:オンライン開催を含む2〜3の選択肢を整理し、マネージャーに提示して決定を得る(キー 4)

有害な行動の識別 ・ 寄与要因 ②

CB-02-A
ワースト:来月のレポートで数値を調整し、脚注で説明する(キー 3)

行動軸を押し下げた要因 ①

CB-03-A
ベストとしてキー 1を選択:次の会議の前に味方を作るため、その同僚への不満をこっそり他のチームメイトに広める ・ モデル(キー 5):会議後にその場面を1対1で取り上げ、前に進む方法を提案する

行動軸を押し下げた要因 ②

CB-08-A
ベストとしてキー 2を選択:その場の会議で一点ずつ反論する ・ モデル(キー 5):妥当な指摘は受け入れ、誤っている点は後で1対1で根拠を示す

判断マップ ・ 2軸 ・ 続き

4つのタイプ、境界域、コホートの分布

4つのタイプと境界域

バランス型
両軸がカット以上

効果的な行動が強く、リスク識別は育成対象
効果的な行動の軸のみカット以上

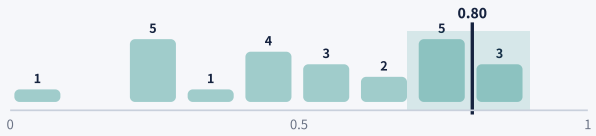
リスク識別が強く、効果的な行動は育成対象
有害な行動の軸のみカット以上

両軸ともエビデンス不足
両軸ともカット未満

境界域
区間がカットをまたぐ・タイプ未確定

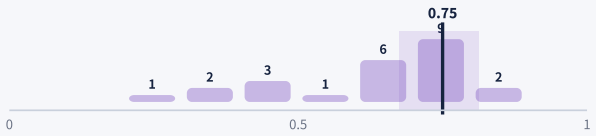
x = 平均 best_credit = (key(B)−1)/4 · y = 平均 worst_credit = (5−key(W))/4 · 区間 = 1,000回の項目リサンプリングに基づく90% · キャリブレーション前のため記述値であり、θ ではありません · カットは基準参照であり、コホート中央値ではありません。

効果的な行動の識別・コホート分布



バー = この軸における24名の完了者の分布 · 陰影帯 = この人の90% 区間 · 線 = 中心値 0.80。記述的、キャリブレーション前。

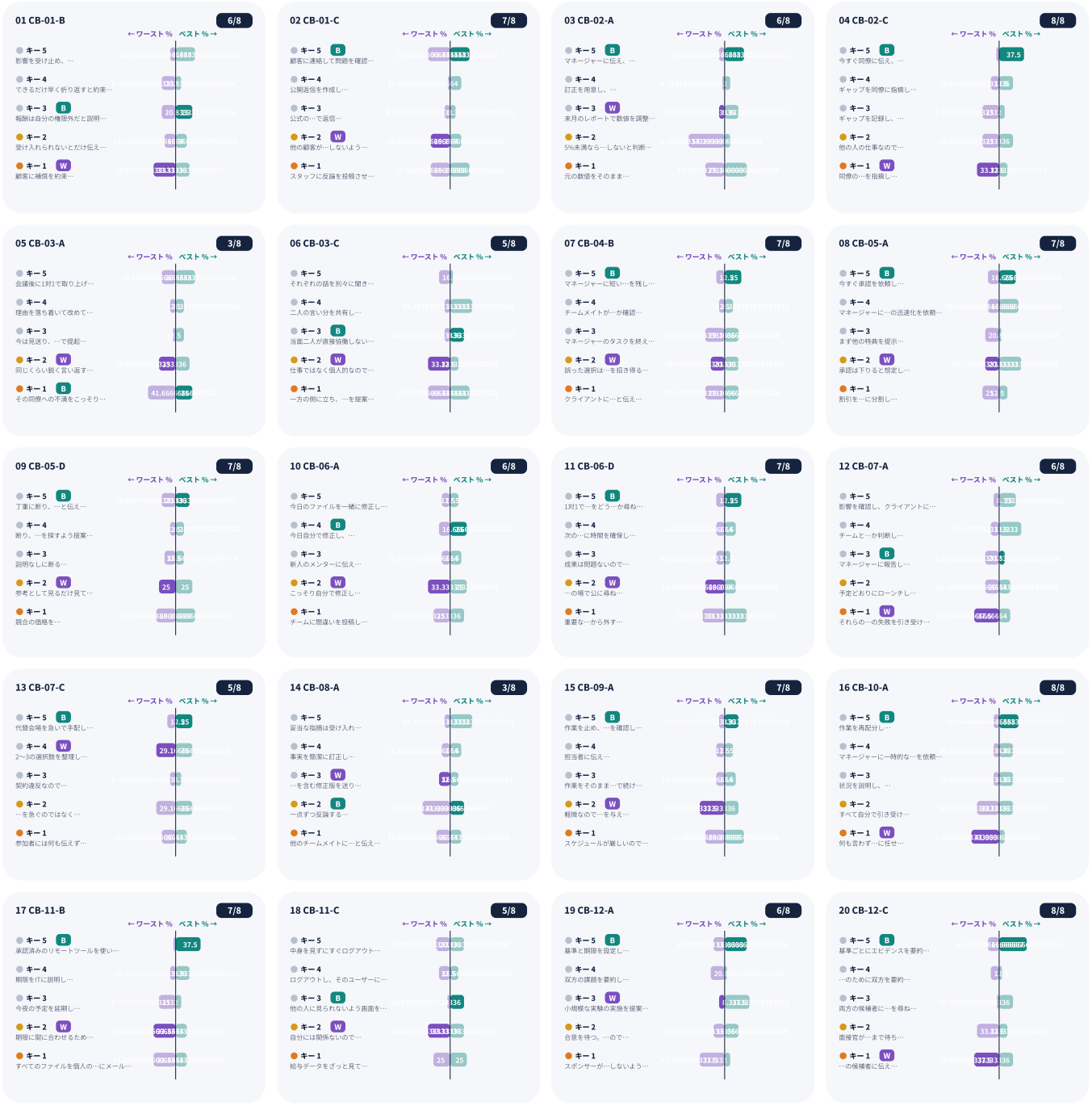
有害な行動の識別・コホート分布



バー = この軸における24名の完了者の分布 · 陰影帯 = この人の90% 区間 · 線 = 中心値 0.75。記述的、キャリブレーション前。

選択フィンガープリント ・ 20の状況 × 5つの選択肢

モデル行動は20件中13件でベストとして選ばれ、最も有害な行動は5件でワーストとして選ばれました。この人がコホートと異なる点が一目で分かります。



まれな選択(コホートの15%未満が選択)

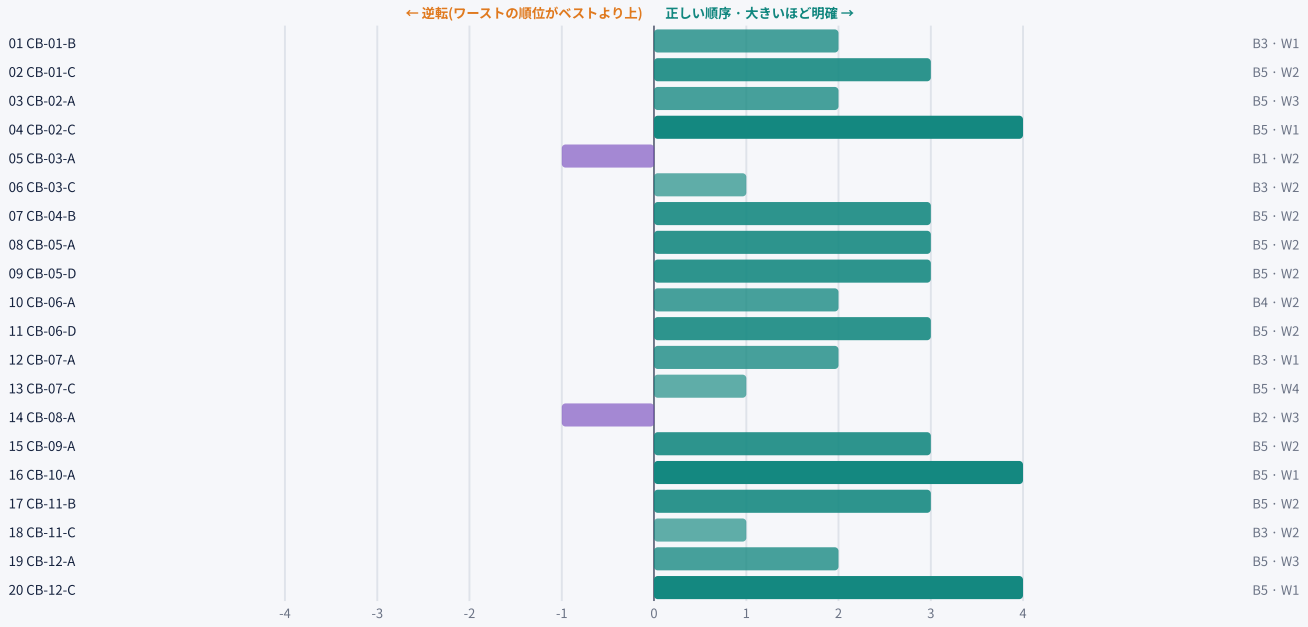
- W 03 CB-02-A・キー 3・来月のレポートで数値を調整し、…で説明する・コホート8%
- B 12 CB-07-A・キー 3・マネージャーに報告し、ローンチの判断は任せる・コホート8%
- W 19 CB-12-A・キー 3・小規模な実験の実施を提案し、データに基づいて決定する・コホート8%

まれな選択は間違った選択ではありません。理由を尋ねるのに適した場面です。

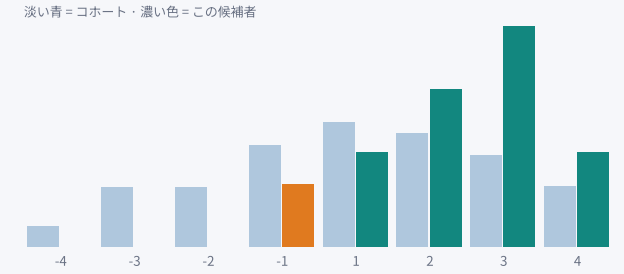
選択の質 ・ 判断ギャップ

ギャップが +3以上の状況は20件中10件です。逆転した2件の選択を最初に確認してください。

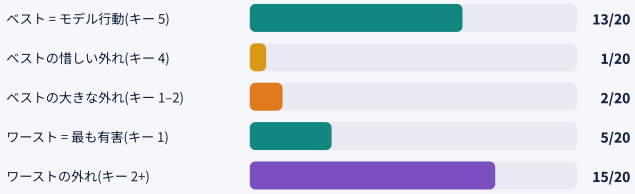
状況別の判断ギャップ・key(ベスト) − key(ワースト)



コホートとのギャップ分布の比較



惜しい外れと大きな外れ



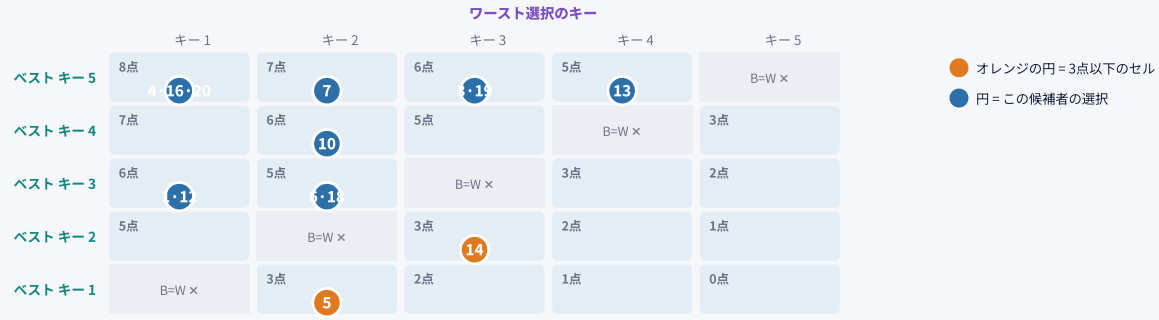
逆転した選択2件・ワースト選択のキーがベスト選択より高い

05 **CB-03-A**・ベスト キー 1「次の会議の前に味方を作るため、その同僚への不満をこっそり他のチームメイトに広める」・ワースト キー 2「次の会議で、その同僚の提案に同じくらい鋭く言い返す」

14 **CB-08-A**・ベスト キー 2「その場の会議で一点ずつ反論する」・ワースト キー 3「妥当な指摘のみを含む修正版を送り、誤っている点には二度と触れずに済ませる」

逆転とは、その状況の優先順位を逆に読んだことを意味します。まず、この人がその状況をどう理解したかを尋ねてください。コホートの逆転率は参照グループとともに表示されます。

20件の選択がS1スコア表のどこに位置するか

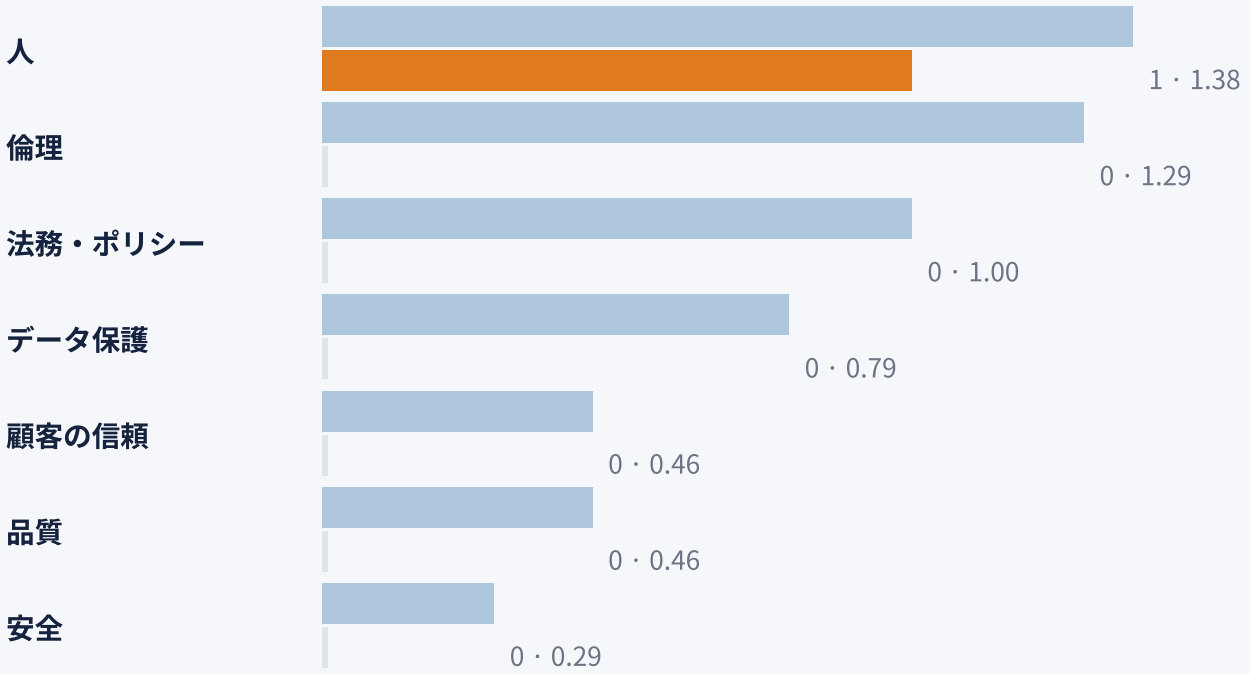


セル = ベスト キー × ワースト キーとそのスコア(0–8)・円 = 候補者の選択(状況番号、または件数)・セルの濃淡とコホート %は参照グループとともに表示されます。

魅力的な誤答選択肢 · 有害領域

モデル行動ではなかったベスト選択7件のうち、1件は次善の行動でした。有害な選択肢がベストとして選ばれた領域は「人」のみです。

領域別の有害な選択肢への引き寄せ・この候補者 vs コホート



どの誤った選択肢が魅力的だったか

- モデル行動ではなかったベスト選択7件のうち:惜しい外れ1件(キー 4)、大きな外れ2件(キー 1–2)
- 有害な選択肢(重大度2+)がベストとして選ばれた領域:人
- コホート平均は1人あたり5.67、この候補者は1
- コホートの多くが同じ誤った選択をした場合、問題はこの人だけでなく、選択肢そのものが魅力的な誤答選択肢である可能性があります。

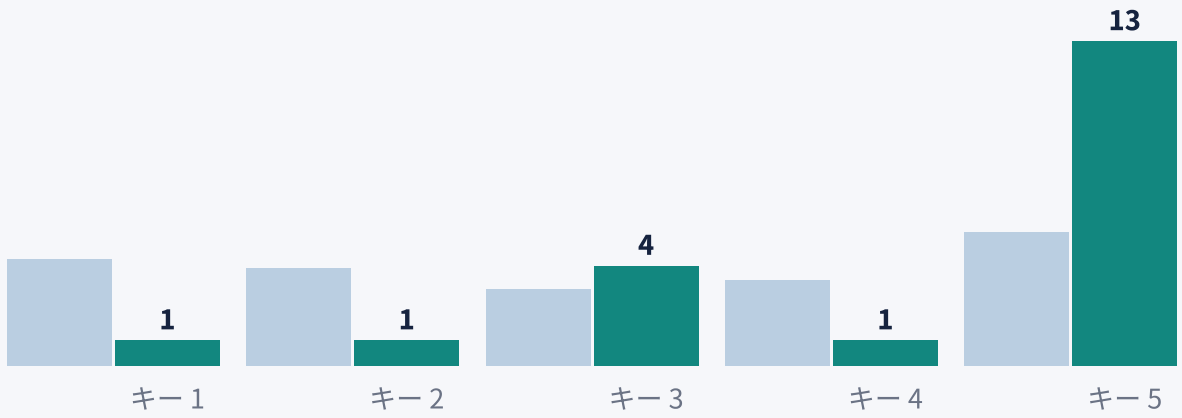
2種類の異なるフォローアップ件数

キー順位ルールでは2件の選択(ベスト順位1–2)がフラグされます。提供された領域・重大度タグでは、「人」の高重大度の選択が1件特定されます。CB-08-A の順位2の行動は、設計上タグなしです。タグのない選択肢には領域もパネル重大度も割り当てられておらず、順位ベースのフォローアップシグナルを消すものではありません。

ベスト/ワーストのキー分布

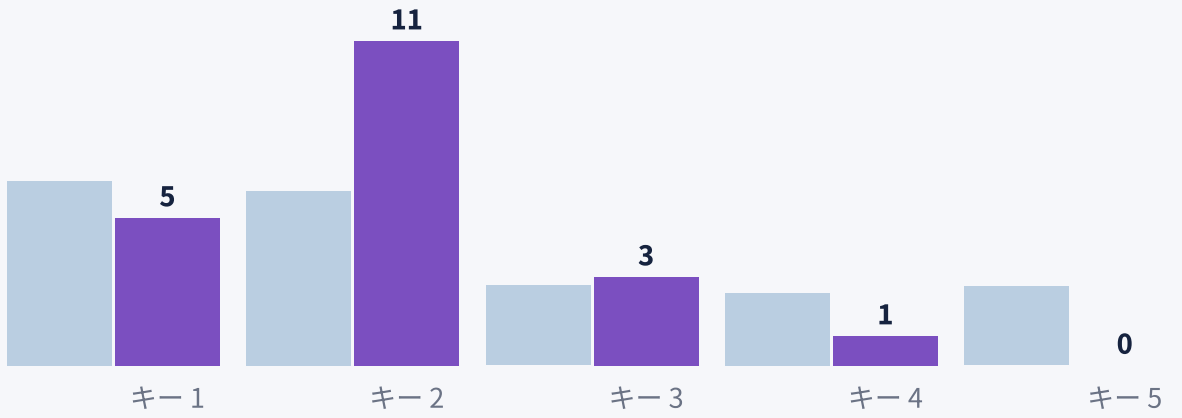
ベスト選択のキー

淡い色 = コホート・濃い色 = この候補者(数字 = 件数)



ワースト選択のキー

淡い色 = コホート・濃い色 = この候補者(数字 = 件数)



件数とスケール

各分布の合計は20回答です。濃いバーは、各キー順位におけるこの人の選択数を数えたものです。淡いバーは、同じ20の状況におけるコホートの選択割合を期待件数に換算して合計したものです。順位5はモデル行動、順位1は採点キーで最も順位の低い行動です。ベストとワーストの分布は別々のビューであり、総合順位ではありません。

有害な選択のエビデンス・続き

モデル行動ではなかったすべてのベスト選択

状況	キー	ベストとして選択	領域・重大度	コホートの同一選択	モデル行動
01 CB-01-B	キー 3	報酬は自分の権限外であると説明し、正式な連絡先を伝える	タグなし・領域未割当	25%	影響を受け止め、調査と見直しの手順を説明し、適切なチームにつなぐ
05 CB-03-A	キー 1	次の会議の前に味方を作るため、その同僚への不満をこっそり他のチームメイトに広める	人・重大度2	25%	会議後にその場面を1対1で取り上げ、前に進む方法を提案する
06 CB-03-C	キー 3	当面二人が直接協働しないようにタスクを分け、それぞれから別々に進捗を集める	タグなし・領域未割当	21%	それぞれの話を別々に聞いたうえで、3人で会って役割とコミュニケーションを合意する
10 CB-06-A	キー 4	今日自分で修正し、翌朝に新人にエラーのパターンを説明する	タグなし・領域未割当	25%	今日のファイルを一緒に修正し、原因を見つけてチェックリストを一緒に作る
12 CB-07-A	キー 3	マネージャーに報告し、ローンチの判断は任せる	タグなし・領域未割当	8%	影響を確認し、まずクライアントに伝え、ローンチの選択肢を提示する
14 CB-08-A	キー 2	その場の会議で一点ずつ反論する	タグなし・領域未割当	21%	妥当な指摘は受け入れ、誤っている点は後で1対1で根拠を示す
18 CB-11-C	キー 3	他の人に見られないよう画面をロックし、別のPCに移る	タグなし・領域未割当	21%	中身を見ずにすぐログアウトし、セキュリティに報告する

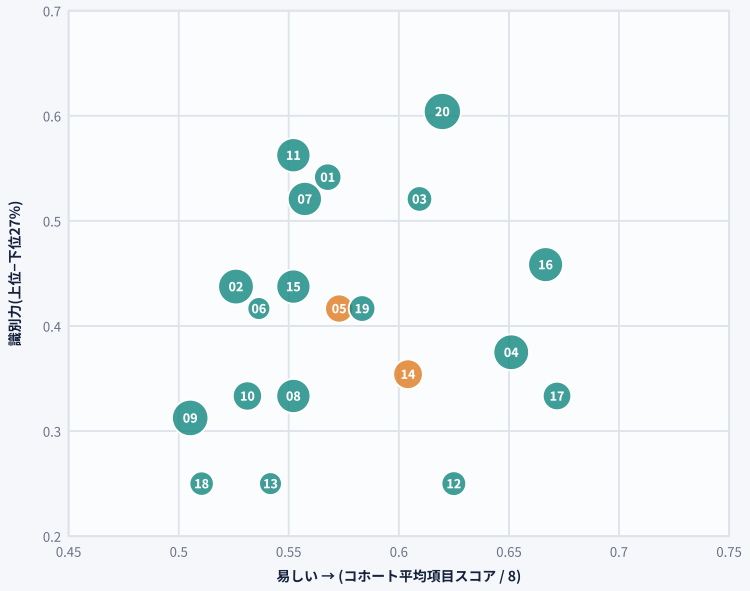
選択肢の全文は認可された付録に記載されています。タグはこのフォームに対して提供されたもので、タグのない選択肢は未割当のままです。

難易度調整後の項目ストーリー

難しい項目20件中18件でコホートを上回りました。易しい項目の取りこぼしは0件です。

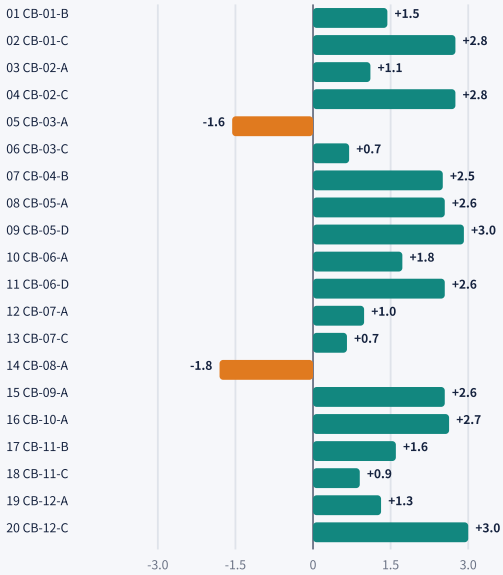
難しい項目の平均	易しい項目の平均	最も上回った項目	最も下回った項目
6.2	—	20	14
コホート4.6・20項目	コホート —・0項目	+3.0・CB-12-C	-1.8・CB-08-A

項目難易度 × 識別力・円 = この候補者 vs コホート



円の大きさ = コホート平均との差の大きさ・青緑 = 0.5以上上回る・オレンジ = 0.5以上下回る・金 = 同程度。

コホート平均との差



難しい項目で上回った項目

20 CB-12-C・コホート平均5.0 → 8
09 CB-05-D・コホート平均4.0 → 7
02 CB-01-C・コホート平均4.2 → 7
04 CB-02-C・コホート平均5.2 → 8
16 CB-10-A・コホート平均5.3 → 8
08 CB-05-A・コホート平均4.4 → 7
11 CB-06-D・コホート平均4.4 → 7
15 CB-09-A・コホート平均4.4 → 7
07 CB-04-B・コホート平均4.5 → 7
10 CB-06-A・コホート平均4.3 → 6
17 CB-11-B・コホート平均5.4 → 7
01 CB-01-B・コホート平均4.5 → 6
19 CB-12-A・コホート平均4.7 → 6
03 CB-02-A・コホート平均4.9 → 6
12 CB-07-A・コホート平均5.0 → 6
18 CB-11-C・コホート平均4.1 → 5
06 CB-03-C・コホート平均4.3 → 5
13 CB-07-C・コホート平均4.3 → 5

易しい項目での取りこぼし

なし。

読み方

難しい項目で上回ることは、易しい項目で上回ることより強いエビデンスです。識別力の高い項目(上部)での差はより信頼できます。24名のコホートに基づきます。

難易度調整後の項目ストーリー

難しい項目20件中18件でコホートを上回りました。易しい項目の取りこぼしは0件です。 ・続き

項目の数値・このページのすべての点とバーの根拠

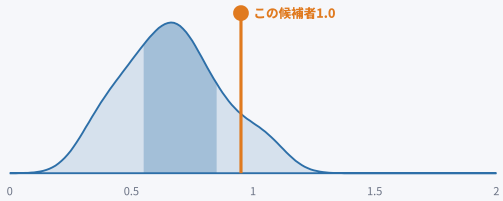
状況	コンピテンシー	コホート平均	易しさ p	D	項目-残差 r	この人	差	難
01 CB-01-B	顧客とステークホルダー	4.54	0.57	0.54	0.70	**6**	**+1.46**	✓
02 CB-01-C	顧客とステークホルダー	4.21	0.53	0.44	0.44	**7**	**+2.79**	✓
03 CB-02-A	誠実性とリスク	4.88	0.61	0.52	0.71	**6**	**+1.13**	✓
04 CB-02-C	誠実性とリスク	5.21	0.65	0.38	0.42	**8**	**+2.79**	✓
05 CB-03-A	人と協働	4.58	0.57	0.42	0.35	**3**	**-1.58**	✓
06 CB-03-C	人と協働	4.29	0.54	0.42	0.45	**5**	**+0.71**	✓
07 CB-04-B	顧客とステークホルダー	4.46	0.56	0.52	0.70	**7**	**+2.54**	✓
08 CB-05-A	誠実性とリスク	4.42	0.55	0.33	0.38	**7**	**+2.58**	✓
09 CB-05-D	誠実性とリスク	4.04	0.51	0.31	0.42	**7**	**+2.96**	✓
10 CB-06-A	人と協働	4.25	0.53	0.33	0.46	**6**	**+1.75**	✓
11 CB-06-D	人と協働	4.42	0.55	0.56	0.61	**7**	**+2.58**	✓
12 CB-07-A	プレッシャー下での実行力	5.00	0.63	0.25	0.37	**6**	**+1.00**	✓
13 CB-07-C	プレッシャー下での実行力	4.33	0.54	0.25	0.36	**5**	**+0.67**	✓
14 CB-08-A	人と協働	4.83	0.60	0.35	0.45	**3**	**-1.83**	✓
15 CB-09-A	誠実性とリスク	4.42	0.55	0.44	0.58	**7**	**+2.58**	✓
16 CB-10-A	プレッシャー下での実行力	5.33	0.67	0.46	0.59	**8**	**+2.67**	✓
17 CB-11-B	誠実性とリスク	5.38	0.67	0.33	0.46	**7**	**+1.63**	✓
18 CB-11-C	誠実性とリスク	4.08	0.51	0.25	0.26	**5**	**+0.92**	✓
19 CB-12-A	顧客とステークホルダー	4.67	0.58	0.42	0.50	**6**	**+1.33**	✓
20 CB-12-C	顧客とステークホルダー	4.96	0.62	0.60	0.55	**8**	**+3.04**	✓

p = コホート平均 / 8 · D = (上位27%平均 − 下位27%平均) / 8 · 難 = p < 0.76 · 24名のコホート。

一貫性 · タイプの安定性

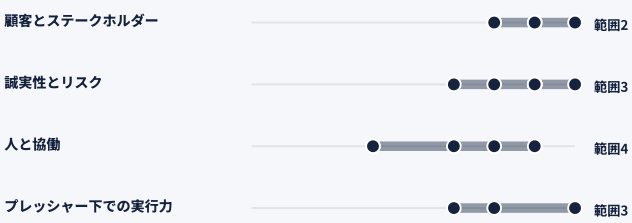
リサンプルの99%で「バランス型」。

コホートで最も多い選択との一致



ベスト一致8/20 + ワースト一致11/20。青い形 = コホートの分布。多数派と異なることは、間違いであることと同じではありません。

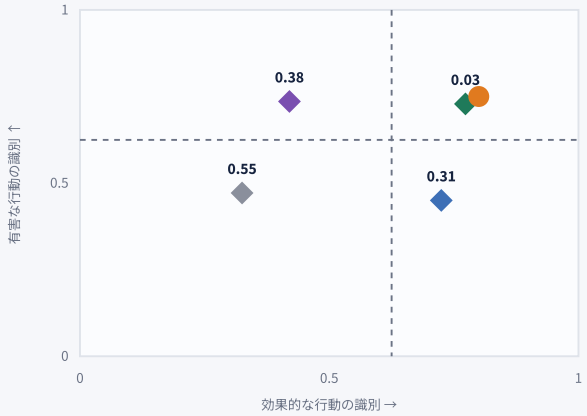
コンピテンシー内の一貫性



タイプの安定性・1,000回の項目リサンプリング



各タイプの中心までの距離



ひし形 = 各タイプのコホート中心 · 数字 = この候補者(オレンジ)までの距離 · 破線 = 0.625カット。

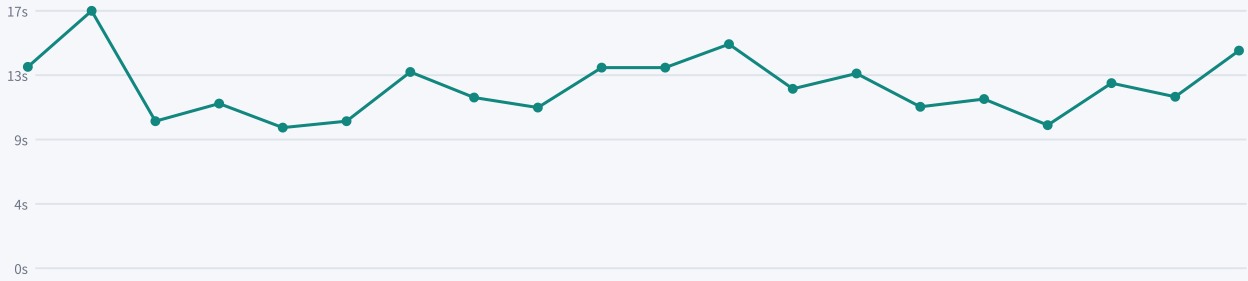
状況別の一致 · ✓ = コホートで最も多い選択と同じ、% = 同じ選択をしたコホートの割合



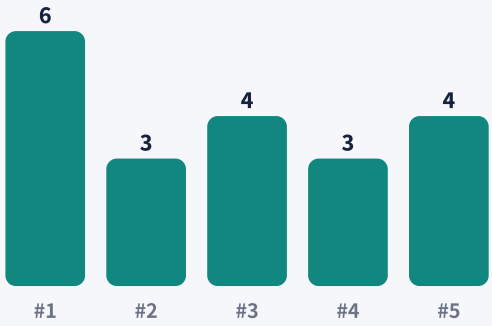
回答パターン ・ 時間 ・ 位置

回答時間や選択パターンに、確認を要するシグナルはありません。

項目ごとの回答時間・コホートのバンド上



ベスト選択の画面上の位置



位置は、この候補者に表示された順序に従っています。実際のフォームでは、候補者ごとに選択肢の順序がシャッフルされます。

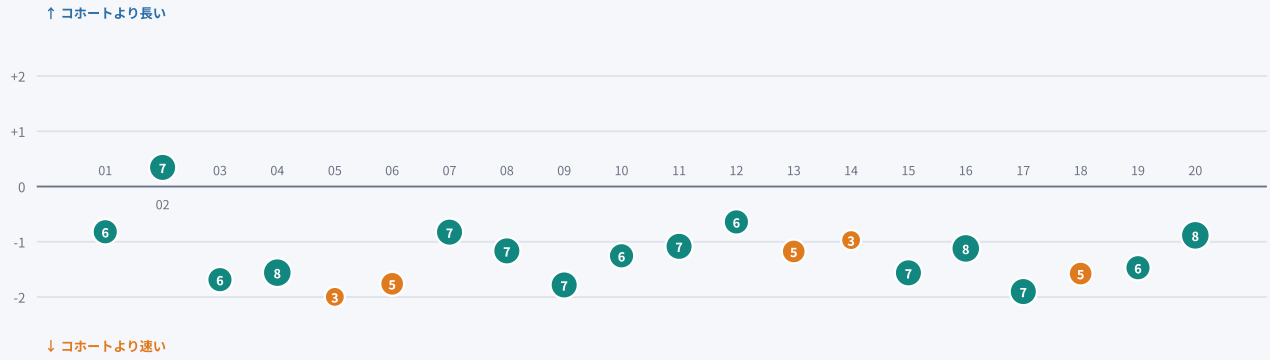
回答プロセスの要約

- 回答時間の中央値12秒
- 最も長く熟考した項目:02 CB-01-C (17.1秒)
- ベスト = ワーストの回答:0(サーバーが拒否)
- 整合性シグナル:なし
- シグナルは確認のためのものであり、不正行為の証拠ではありません。中央値の時間 < 8秒、ベストが同じ画面位置 ≥ 15/20。スコアとは決して組み合わせません。

回答時間の詳細

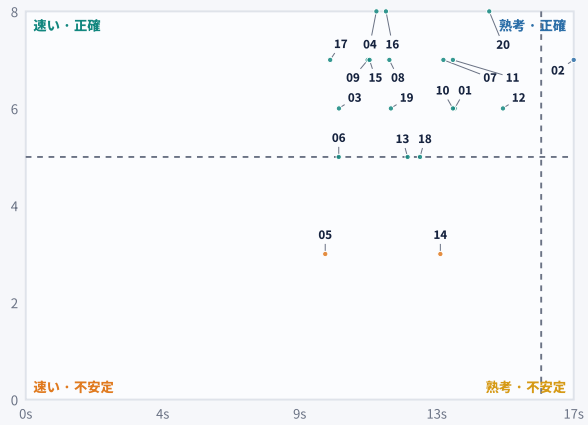
ほとんどの回答はコホートより速く、熟考時間とスコアの関連は弱いものでした(r = 0.18)。これらは面接で聞くべき難しい場面です。

項目ごとの回答時間・vs コホート(log z)



数字 = 項目スコア・青緑 = 6以上・オレンジ = 5以下・上 = コホートより長い。

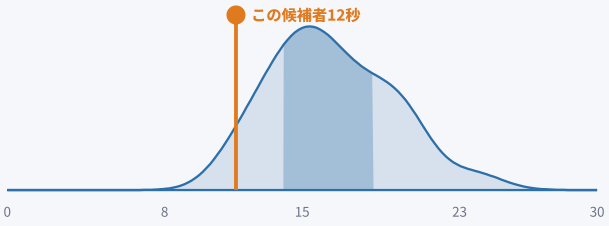
熟考 × 正確さの四象限



重なる点を含むすべてのID・正確な座標(秒 / スコア)

01 13.355s / 6	**02** 17.063s / 7	**03** 9.751s / 6	**04** 10.92s / 8
05 9.327s / 3	**06** 9.747s / 5	**07** 13.006s / 7	**08** 11.323s / 7
09 10.649s / 7	**10** 13.302s / 6	**11** 13.3s / 7	**12** 14.858s / 6
13 11.89s / 5	**14** 12.907s / 3	**15** 10.703s / 7	**16** 11.216s / 8
17 9.481s / 7	**18** 12.275s / 5	**19** 11.367s / 6	**20** 14.432s / 8

回答時間の中央値・コホート分布上のこの候補者

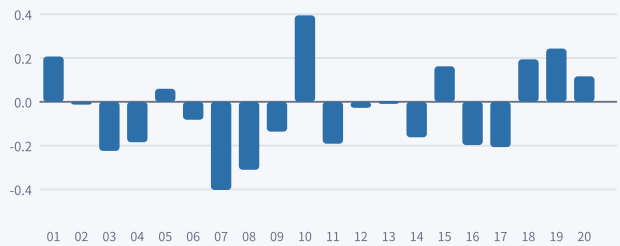


確認のしきい値:中央値8秒未満。

時間と判断の関係

- この候補者の時間–スコア相関 r = 0.18(コホート中央値0.06)
- 相関が弱すぎて、方向を読み取れません。
- 速いが不安定な項目:2
- 速い回答(コホート下位25%)+ 有害なベスト:1
- 20点に基づく相関は不安定です。会話のきっかけとしてのみ使用してください。
- 時間シグナルは確認のためのものであり、不正行為の証拠ではありません。

項目別の時間–スコア相関・24名のコホート

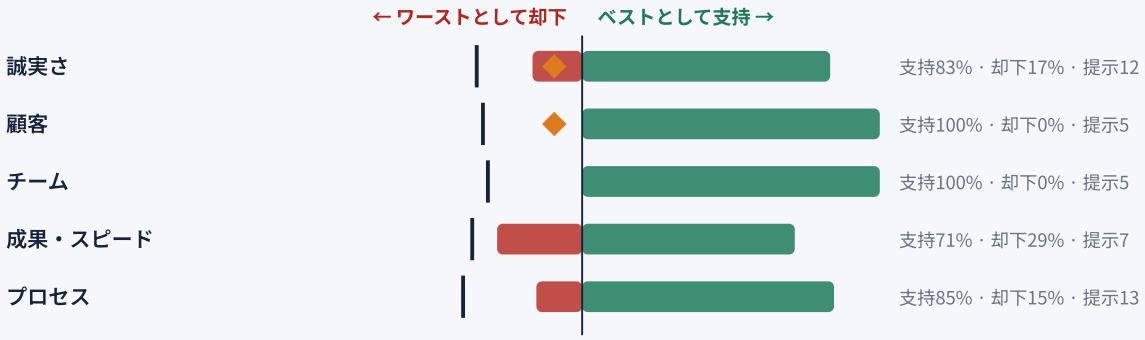


その項目で、時間をかけた人ほど高スコアだったかどうか(r)。最も強い関連は項目07(r = -0.40)です。

価値観フィンガープリント ・ 意思決定スタイル

2件の選択が企業の優先価値観と衝突しています。最も多く支持された価値観は「顧客」です。

効果性の判断に表れた価値観の優先順位(社内価値観フレームワーク草案、R4)

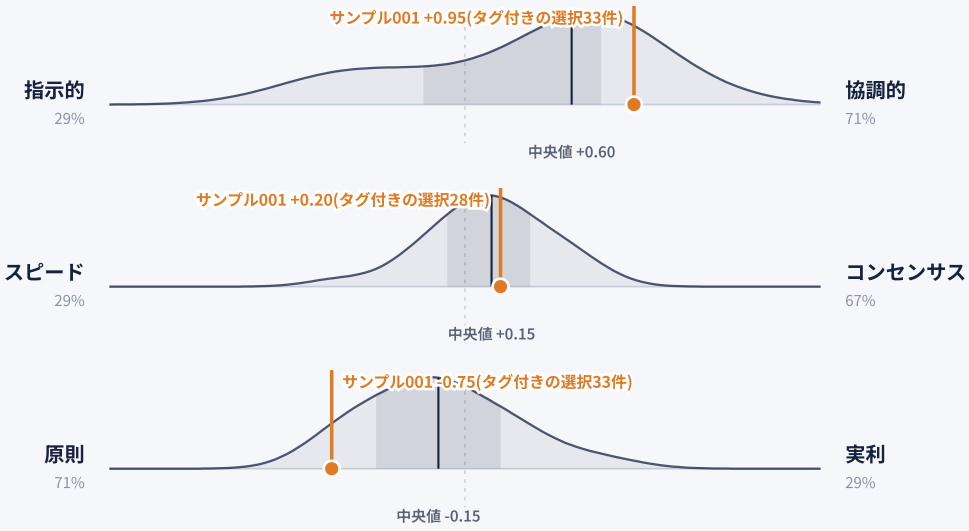


◆ = 企業文化プロファイルの最上位の価値観・縦線 = コホート中央値の却下率・有害な選択肢は除外・総合適合スコアなし・これらは「候補者が効果的と判断すること」に表れた優先順位であり、個人の価値観ではありません。

優先価値観との緊張 2件の選択が企業の優先価値観と衝突しています — 面接で確認してください(不採用の理由ではありません)。 ・**CB-02-A**・優先価値観(誠実さ)の選択肢をワーストとして選択・**CB-08-A**・優先価値観(誠実さ)の選択肢をワーストとして選択

未提示 提示が4回未満:自律性

実際の選択に基づく意思決定スタイル(3軸、R6)



スコア = ベストのタグの平均 − ワーストのタグの平均(−2〜+2)・オレンジの線 = この候補者・曲線 = コホート分布(濃い部分 = 中央50%)・知識型の指示のため、これは「候補者が、どう行動すべきと考えているか」を意味します・偽装耐性は今後検証が必要です。

このページからの面接質問

指示的 ↔ 協調的・スコア +0.95

「より協調的なアプローチを選んだ実際のケースについて教えてください。逆のアプローチのほうが有効だったのは、どのような場合ですか。」

原則 ↔ 実利・スコア -0.75

「より原則的なアプローチを選んだ実際のケースについて教えてください。逆のアプローチのほうが有効だったのは、どのような場合ですか。」

0から最も離れた2軸を表示・正解はありません・回答を通じて、状況に応じてアプローチが変わるかを確認してください。

測定上の注記 ・ エビデンスの追跡

すべての数値は20件の回答記録から算出されており、このページで追跡できます。

この結果が示すこと

- 表示された20の状況で、この候補者がベスト/ワーストとして選んだ内容と、キーとの違い
- 面接で確認すべき具体的なポイント
- 採用後の育成の対話の出発点

本レポートが示さないこと

- 職務パフォーマンスを予測するものではありません
- パーソナリティや態度の判定ではありません
- 他の候補者との順位付けではありません(コホート比較は参照グループとともに、パーセンタイルの開示つきで提供されます)
- キャリブレーション前の記述的な数値であり、θ ではありません

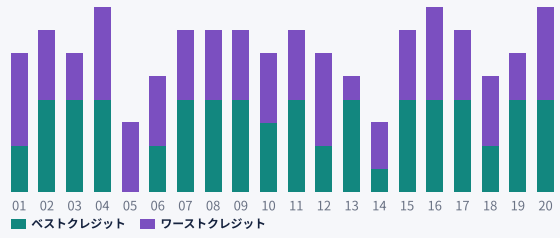
エビデンスの追跡・すべての数値の出どころ

シナリオ	回答 ID	選択とキー	画面位置 B/W	時間	キー・採点バージョン
01 CB-01-B	Sample 001-01	B=key 3・W=key 1	4 / 1	13.4s	theta-key-2026-10-05・bw-s1-v1
02 CB-01-C	Sample 001-02	B=key 5・W=key 2	1 / 5	17.1s	theta-key-2026-10-05・bw-s1-v1
03 CB-02-A	Sample 001-03	B=key 5・W=key 3	1 / 3	9.8s	theta-key-2026-10-05・bw-s1-v1
04 CB-02-C	Sample 001-04	B=key 5・W=key 1	3 / 4	10.9s	theta-key-2026-10-05・bw-s1-v1
05 CB-03-A	Sample 001-05	B=key 1・W=key 2	3 / 5	9.3s	theta-key-2026-10-05・bw-s1-v1
06 CB-03-C	Sample 001-06	B=key 3・W=key 2	1 / 4	9.7s	theta-key-2026-10-05・bw-s1-v1
07 CB-04-B	Sample 001-07	B=key 5・W=key 2	1 / 2	13.0s	theta-key-2026-10-05・bw-s1-v1
08 CB-05-A	Sample 001-08	B=key 5・W=key 2	5 / 4	11.3s	theta-key-2026-10-05・bw-s1-v1
09 CB-05-D	Sample 001-09	B=key 5・W=key 2	5 / 1	10.6s	theta-key-2026-10-05・bw-s1-v1
10 CB-06-A	Sample 001-10	B=key 4・W=key 2	3 / 2	13.3s	theta-key-2026-10-05・bw-s1-v1

回答 ID は、候補者参照 + 項目順で構成されます。それぞれが、フォーム送信時にサーバーに記録された生の回答と1対1で対応します。

キャリブレーション前・記述的 | key_version theta-key-2026-10-05 | 基準カット0.625 | 総合スコアなし・順位なし | 欠損は欠損のまま

スコアの積み上げ・20の状況にわたるベストクレジット + ワーストクレジット



同じ選択をしたコホートの割合・ベスト / ワースト



青緑 = この候補者と同じベスト選択をした24名のコホートの割合、紫 = 同じワースト選択の割合。低いほど「まれ」であり、「誤り」ではありません。

すべての数値は20件の回答記録から算出されており、このページで追跡できます。 ・続き

この回答記録の読み方

各行は、サンプル001の採点された回答1件を表します。ベストとワーストは、同じ項目キーの下の選択肢を指します。項目クレジットは (ベスト順位 − 1) + (5 − ワースト順位)で、0〜8です。回答時間は記録された所要時間であり、スクリーニングスコアではありません。表示位置は記録された選択肢の順序に従います。この表は、前のページの回答リストの続きです。

エビデンスの追跡・すべての数値の出どころ

シナリオ	回答 ID	選択とキー	画面位置 B/W	時間	キー・採点バージョン
11 CB-06-D	Sample 001-11	B=key 5・W=key 2	5 / 3	13.3s	theta-key-2026-10-05・bw-s1-v1
12 CB-07-A	Sample 001-12	B=key 3・W=key 1	5 / 2	14.9s	theta-key-2026-10-05・bw-s1-v1
13 CB-07-C	Sample 001-13	B=key 5・W=key 4	2 / 5	11.9s	theta-key-2026-10-05・bw-s1-v1
14 CB-08-A	Sample 001-14	B=key 2・W=key 3	2 / 3	12.9s	theta-key-2026-10-05・bw-s1-v1
15 CB-09-A	Sample 001-15	B=key 5・W=key 2	1 / 3	10.7s	theta-key-2026-10-05・bw-s1-v1
16 CB-10-A	Sample 001-16	B=key 5・W=key 1	3 / 2	11.2s	theta-key-2026-10-05・bw-s1-v1
17 CB-11-B	Sample 001-17	B=key 5・W=key 2	4 / 3	9.5s	theta-key-2026-10-05・bw-s1-v1
18 CB-11-C	Sample 001-18	B=key 3・W=key 2	1 / 5	12.3s	theta-key-2026-10-05・bw-s1-v1
19 CB-12-A	Sample 001-19	B=key 5・W=key 3	2 / 3	11.4s	theta-key-2026-10-05・bw-s1-v1
20 CB-12-C	Sample 001-20	B=key 5・W=key 1	4 / 2	14.4s	theta-key-2026-10-05・bw-s1-v1

回答 ID は、候補者参照 + 項目順で構成されます。それぞれが、フォーム送信時にサーバーに記録された生の回答と1対1で対応します。

コンピテンシーの解釈 · キャリブレーション前

回答スコアは採用の判定ではありません

個別コンピテンシーの素点・キャリブレーション前

ベスト＋ワーストクレジットは項目キーに基づく記述値であり、採用の判定や IRT 能力パーセンタイルではありません。

4つのコンピテンシースコア

顧客とステークホルダー・6.8/8・コホート中央値4.8 (n=24)

誠実性とリスク・6.7/8・コホート中央値4.4 (n=24)

人と協働・4.8/8・コホート中央値4.8 (n=24)

プレッシャー下での実行力・6.3/8・コホート中央値5.0 (n=24)

24名の比較コホートは、このリクエストの元の回答から算出されています。順位は付録Rをご覧ください。

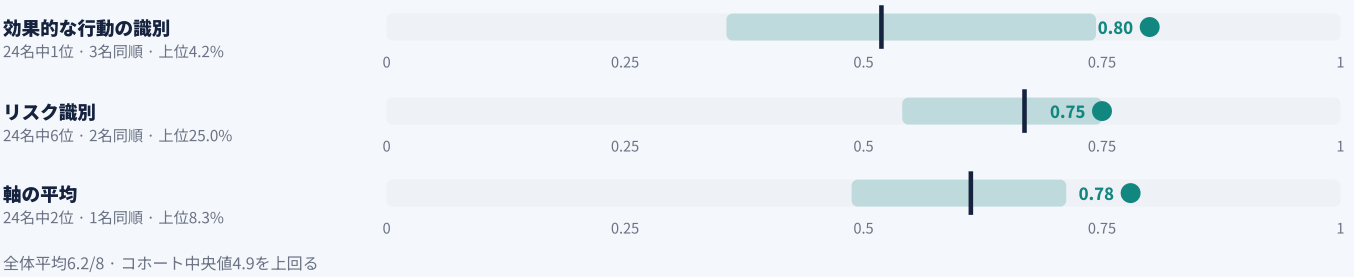
各スコアはエビデンスとあわせて使用してください

コンピテンシースコアは、そのコンピテンシーに割り当てられた状況の項目素点の平均です。比較の中央値は、同じ24名のコホートと同じフォームから算出されます。候補者を下回る、より広い母集団の割合を推定するものではありません。スコアの低い状況と選択された行動を確認し、面接で具体的なエビデンスを尋ねてください。4つのスコアを自動的な採用判断に変換しないでください。

付録R・相対的な位置

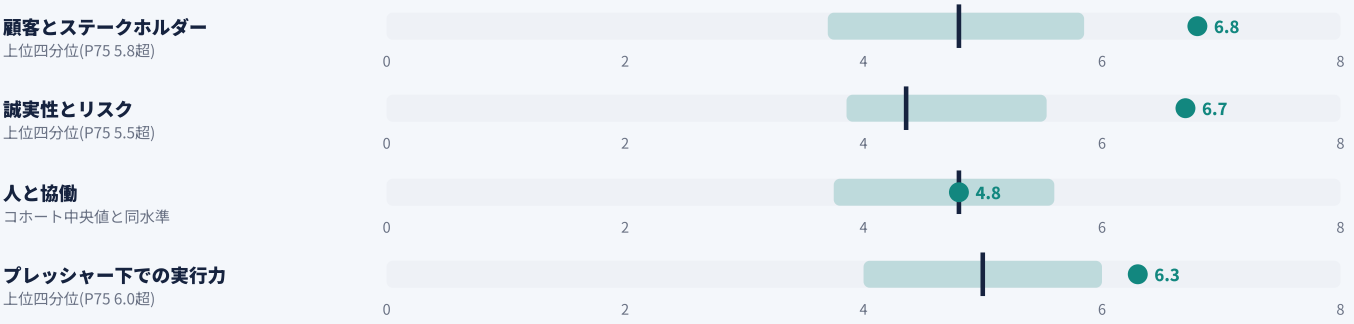
24名のコホート内での候補者の位置。

2つの軸スコア・このコホートから算出した順位



全体平均6.2/8・コホート中央値4.9を上回る

コンピテンシーの位置・vs コホート四分位(P25・中央値・P75)



付録R・相対的な位置・続き

状況別の位置・01–10

状況別の位置・全20状況

状況	候補者	コホート中央値	Q1–Q3	同バンドの人数	位置
CB-01-B	**6.0**	5.0	3.0-6.0	24名中10位	上位25%の境界
CB-01-C	**7.0**	5.0	2.8-6.3	24名中9位	上位25%
CB-02-A	**6.0**	6.0	3.0-7.0	24名中13位	中央50%
CB-02-C	**8.0**	5.0	3.0-7.0	24名中10位	上位25%
CB-03-A	**3.0**	5.0	2.8-6.3	24名中3位	中央50%
CB-03-C	**5.0**	5.0	2.0-6.0	24名中5位	中央50%
CB-04-B	**7.0**	5.0	3.0-5.3	24名中6位	上位25%
CB-05-A	**7.0**	5.0	2.8-7.0	24名中10位	上位25%の境界
CB-05-D	**7.0**	4.0	2.0-5.3	24名中6位	上位25%
CB-06-A	**6.0**	5.0	2.8-6.0	24名中8位	上位25%の境界

相対的な位置の読み方

「候補者」はこの人の0〜8の項目素点です。「コホート中央値」は同じ24名の中央値です。Q1–Q3は項目素点の中央半分です。四分位の境界にある位置は、厳密に基準を上回る順位として扱わず、境界として表示しています。同バンドの人数には本人を含みます。これらはコホート内の比較であり、母集団の基準値や採用の評価ではありません。

付録R・相対的な位置・続き

状況別の位置・11–20

状況別の位置・全20状況

状況	候補者	コホート中央値	Q1–Q3	同バンドの人数	位置
CB-06-D	**7.0**	5.0	2.8-7.0	24名中10位	上位25%の境界
CB-07-A	**6.0**	5.5	5.0-6.3	24名中12位	中央50%
CB-07-C	**5.0**	5.0	2.0-6.0	24名中3位	中央50%
CB-08-A	**3.0**	6.0	3.0-7.0	24名中6位	中央50%
CB-09-A	**7.0**	5.0	3.0-6.3	24名中9位	上位25%
CB-10-A	**8.0**	6.0	4.5-7.0	24名中13位	上位25%
CB-11-B	**7.0**	6.0	5.0-7.0	24名中13位	上位25%の境界
CB-11-C	**5.0**	5.0	2.5-6.0	24名中8位	中央50%
CB-12-A	**6.0**	5.0	2.8-6.0	24名中10位	上位25%の境界
CB-12-C	**8.0**	5.5	3.0-7.3	24名中12位	上位25%

相対的な位置の読み方

「候補者」はこの人の0〜8の項目素点です。「コホート中央値」は同じ24名の中央値です。Q1–Q3は項目素点の中央半分です。四分位の境界にある位置は、厳密に基準を上回る順位として扱わず、境界として表示しています。同バンドの人数には本人を含みます。これらはコホート内の比較であり、母集団の基準値や採用の評価ではありません。

付録R・相対的な位置・続き

順位の定義と計算の基礎

順位の定義・同点は同順位とし、次の順位は飛ばします(競技順位)・分母 = 境界域を含む全24名・上位 % = 順位 ÷ 24

軸の順位とコンピテンシー・状況別の位置は、このコホートの回答から直接計算されます・四分位は線形補間を使用

全体平均6.2/8、コホート中央値4.9。24名中3名が6–8バンド(12.5%)

判断軸と素点

指標	計算方法	スケール
効果的な行動の識別	(効果的な行動の識別の平均 − 1) ÷ 4	0–1
リスク識別	(有害な行動の識別の平均 − 1) ÷ 4	0–1
軸の平均	((効果的な行動の平均 − 1) + (有害な行動の識別の平均 − 1)) ÷ 8	0–1
全体平均	採点されたベスト + ワースト項目クレジットの平均	0–8

順位と同点

軸の順位は、小数第2位に丸めたスコアを使用します。順位 = 1 + 丸めたスコアが上のコホートメンバーの数。丸めたスコアが等しい場合は同順位とし、次の順位は同点の位置を飛ばします。上位パーセンテージ = 順位 ÷ 24 × 100。これはこのコホート内での相対的な位置であり、母集団のパーセンタイルではありません。

四分位と中央50%

P25、中央値、P75は、このコホートの並べ替えたスコアに対する線形補間で求めます。陰影帯は P25から P75までです。コンピテンシーの比較は各メンバーのそのコンピテンシーの平均を使用し、状況の比較はメンバー間で同じ項目を使用します。

コホートと分母

この付録は、レポートに提供されたコホートの24名と同じ評価フォームを使用しています。境界域のメンバーも分母に含まれます。すべての状況は同じ項目 ID で比較されます。コホート人数と元の回答は、個人レポートの比較パネルと共有されています。

スコアバンドと欠損した比較

項目バンドは0–2、2超4未満、4以上6未満、6–8です。同バンドの人数は、その項目で候補者のバンドに入るコホートメンバー数です。採点では、欠損した回答、ベストとワーストの同一選択、項目キーにない選択をスキップします。スキップされた項目に0は挿入されません。状況の比較は、対応する項目の利用可能なスコアを使用します。欠損した回答は、成績が低いことの証拠ではありません。

この付録の使い方

候補者のドットを、コホート中央値と中央50%バンドとあわせて読んでください。項目表を使って、比較を特定の状況まで追跡できます。これらの順位はこのコホートの回答を示すものです。採用の判定、合格基準、または母集団の基準値ではありません。